
熱血！アニメゲームリーグ戦

阪神政虎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

熱血！アニメゲームリーグ戦

【Zコード】

Z6439Z

【作者名】

阪神政虎

【あらすじ】

作者さん達のチームも参加するリーグ戦が幕を開ける…！

それぞれの作品から出てきたみんなが白球を追いかける…！

【登場作品】

- ・けいおん！・けいおん！・とある魔術の禁書目録・とある科学の超電磁砲・スーパー瑪利オブラザーズ・ドンキーコング・ドラえ

もん・こぢら葛飾区亀有公園前派出所・ポケツトモンスター・ウル
トラマンシリーズ・ウルトラマンゼロ・海賊戦隊ゴーカイジャー・
けいおん！在校生編・けいおん！大学生編・ふよふよ・ポケツトモ
ンスター special・ドラベース・バワプロくんポケツトシリ
ーズ・魔法少女リリカルなのは・プリキュアシリーズ・俺の妹がこ
んな可愛いわけがない・（ボボボーボ・ボーボボ）

チーム紹介（前書き）

開催の理由は「色々な作品との交流」と考えてもらってください。

後はあまつ考えず、野球だけ考えてください。

試合はプロ野球の試合を参考にしています。

チーム紹介

【小説ウイニングス】

監督・政虎

作者さん達で集めたチーム。左腕のエース ikeki を筆頭にコンピューター・紀葉等個性的な選手が集まる。

【桜ヶ丘ティータイム】

監督・山中さわ子

「けいおん！」のメンバーだけで集めたチーム。変則投法の平沢唯に恐怖の3番打者平沢憂の平沢姉妹を筆頭に投打共に充実している。

【学園都市「ゴールデンガールズ】

監督・木山春生

「とある科学の超電磁砲」の女性キャラのチーム。

一番御坂、二番初春のコンビにエースで四番の佐天が機能すれば壊滅的な打線となるが弱点は打線重視のチームの為、一回押さえ込まれるとダメになる。

【マコオマリナーズ】

監督・マリオ

「マリオ」のチーム。

エースドンキーの球質の重さは論外。マリオルイージ兄弟のクリーンアップ次第で勝敗が左右される。

今はどうか知らないけど昔任天堂がシアトルマリナーズのスポンサーだった関係でチーム名が「マリナーズ」になった。

【ジャイアンズ】

監督・剛田武

「存じ」「ドリーム」のチーム。

監督兼エース兼主砲の剛田武のワソングマンチームかと思えば、天才出木杉、未来の猫型ロボット「ドリーム」等伏兵が多い。調子こいてると普通に負けます。

【インデックス】

監督・一方通行

「とある魔術の禁書目録」からのチーム。

能力の問題で一方通行が監督に回ったがフラグ建築士上条、タバコを吸う14歳スタイル、妹思いの主砲土御門のクリーンアップが特徴。

【ポケットモンスターーズ】

監督・オーキッド

「ポケットモンスター」のチーム。

【亀有ポリスマンズ】

監督・両津勘吉

「いぢり葛飾区亀有公園前派出所」のチーム。
「阿わん」とこと両津勘吉を筆頭に長年「ジャンプ」に連載された
力を武器に戦つ!.

チーム紹介（後書き）

開幕戦

「小説ウイニングスマッシュ 桜ヶ丘ティータイム」

【小説ウイーテンクス vs 桜ヶ丘ティータイム】試合開始前

～QVICOマコソフティード～

幕張メッセの隣にある球場だ。

開門時間前から球場の周りには大勢のファンが詰めかけている。

～球場内～

「小説ウイーテンクス」の面子が試合前のミーティングを行っている。

政虎

「今日はお集まり頂きありがとうございます」

この作品の作者で一応監督をやる政虎。ポジションはビリヤードでもやる予定。

政虎

「皆さんもそひですよ」

ikkii

「そうですか…」

ikkiiさん。中田ファンである。左投げのアンダースローから繰り出されるシンカーが武器である。投手の為、中田の投手応援歌を使う。

セブンの独り言

「まあ俺はどこでもやれるナビ」

セブンの独り言さん。

強肩強打の捕手。広島東洋カープの石原慶幸選手の応援歌を使う。

しら

「楽しみですー！」

しらわん。守備も出来るし打撃も出来る。最高の打者である。千葉ロッテの根元の応援歌を使用。

s c a r t e t

「やつてやろうじやん！」

s c a r t e tさん。千葉ロッテファン…所謂マリサポである。急遽電話で作者に「やつぱり細谷に変えて」と言つてきたので千葉ロッテの細谷の応援歌使用。

紀葉

「初戦はけいおんですか」

紀葉さん。頭脳明晰な打撃を持っている。伝説的な守備も魅せる。

福岡ソフトバンクの内川選手の応援歌使用。

ウルトラマンゼロ

「勝つぞー！」

ウルトラマンゼロさん。身体能力抜群のヒーローである。D R E A

MFIGHTERを応援歌使用。

鷹峯

「やりますか

鷹峯琰さん。守備が上手く、常にヘッドスライティングの精神を持つ。東京ヤクルトの田中浩康の応援歌使用。

千歳涼介

「けいおん叩きますか！！」

千歳涼介さん。堅実な守備と打撃が持ち味だ。

双樹楨

「昨日は寝れませんでしたよ」

双樹楨さん。足が速く、トップバッターの理想である。千葉ロッテの岡田を応援歌使用。

政虎

「この日の為に千葉ロッテマリーンズ、阪神タイガース、中日ドラゴンズ、東京ヤクルトスワローズ、福岡ソフトバンクホークスの応援団の方々が来てくれました」

s carret

「オオ～」

ikkii

「洗脳応援か

政虎

「では本日のスタメンを発表します」

? 双樹 横 (右)

? 鷹峯 瑛 (左)

? 紀葉 (二)

? ウルトラマンゼロ (遊)

? しら (一)

? セブンの独り言 (捕)

? 千歳涼介 (中)

? s c a r l e t (一)

? i k k i (投)

政虎

「それでは初戦絶対勝つぞ！――」

全員

「オオ――」

（フィールド）

「桜ヶ丘ティー・タイム」の選手が打撃練習を行っている。

ちょうど始まった時と開門の時間が被るのでファンが入ってきた。

「山中さわ子
「来たわね
」」

【小説ウイニングスマッシュ 桜ヶ丘ティータイム】 試合開始前（後書き）

出ていない作者さんも試合中は絶対出しますので。

後活動報告の「始めました。」の所注意を見といてください。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表（前書き）

スタメン発表は懲りました（笑）

作者さん呼び捨てなのは勘弁してください。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表

（試合開始30分前）

アナウンス

「それでは両チームの監督によるスタメン交換です」

政虎

「はいはい」

山中わわ子

「じゃ行ってくるわ

政虎と山中わわ子はホームベースに行く。

敷田

「今日の責任審判の敷田です」

政虎

「よろしくお願ひします」

山中わわ子

「ありがとうございます」

アナウンス

「お待たせしました。只今よりリーグ戦第1回戦小説ウイニングス
対桜ヶ丘ティータイムのスターディングラインアップ及びアンパイ
アを発表致します。まず先攻の桜ヶ丘ティータイム、一番、ショー
ト、中野梓」

【パラララ～】 「それ、あ・ず・さー！」

アナウンス

「一番、ライト、秋山遼」

【パラララ～】 「それ、み～おー！」

アナウンス

「三番、サーブ、平沢憂」

【パラララ～】 「それ、う～いー！」

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

【パラララ～】 「それ、り～つー！」

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紗」

【パラララ～】 「それ、むぎーー！」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

【パラララ～】 「それ、まなべーー！」

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

【パラララ～】 「それ、じゅーんーー！」

アナウンス

「八番、センター、奥田直」

【パラララ～】 「それ、奥田ーー！」

アナウンス

「九番、ピッチャー、平沢唯」

【パラララ～】 「それ、ゆーいーー！」

【パ～ララララ～、パ～ララララ～、バツバツバ、バツバツバ、バ
～バツバツバ～】

応援団長

「それーー！」

【パパパパ～パパバツバ～バ～パパパパ～】 「オ～、ハイ！！」
【パパパパ～パパバツバ～バ～パパ～パパ】 「それ

ハイハイハイ……

アナウンス
「続きまして、後攻の小説ウイニングス！！一番、ライトオ双樹樋」

【ダダン】「ふ～た～き～」【ダダン】「ふ～た～き～」【ダダン】
「ふ～た～き～」

アナウンス

「一一番、レフトオ、鷹峯瑛一～」

【ダダン】「鷹峯一～」【ダダン】「鷹峯一～」【ダダン】「鷹峯一～」

アナウンス
「二一番、サーデォ、紀葉」

【ダダン】「のーりーはー」【ダダン】「のーりーはー」【ダダン】
「のーりーはー」

アナウンス

「四番、シードー、ウルトラマンゼロー」

【ダダンダン】「ゼロー」【ダダンダン】「ゼロー」【ダダンダン】
「ゼロー」

アナウンス

「五番、ファースト、しらー」

【ダダン】「し～り」【ダダン】「し～り」【ダダン】「し～り」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言ー。」

【ダダンダン】「セブンー」【ダダンダン】「セブンー」【ダダン
ダン】「セブンー」

アナウンス

「七番、センタア、千歳涼介！」

【ダダン】「ち、と、せー」【ダダン】「ち、と、せー」【ダダン】
「ち、と、せー」

アナウンス

「八番、セカンド、scarlet！」

【ダダンダン】「scarlet！」【ダダンダン】「scarl
et！」【ダダンダン】「scarlet！」

アナウンス

「九番、ピッチャー、ikki！」

【ダダッダン】「ikkūー」【ダダッダン】「ikkūー」【ダ
ダッダン】「ikkūー」

【ペラペラペーパー】「ホー、ロシテーー！」

政虎

「あー応援団ワードミスしゃがつた！」

アナウンス

「アンパイアは主審敷田、墨審、一墨村田、二墨出川、三墨小寺、
公式記録員は中村、試合開始までしばらくお待ちください」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】スタメン発表（後書き）

桜ヶ丘ティータイムには広島東洋カープの応援団と横浜ベイスターズの応援団が来ます。

小説ウイニングスのスタメン発表は千葉ロッテマリーンズのスタメン発表そのままです。

興味がありましたらYouTubeに投稿されているので

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】試合開始！1回表

試合開始直前に政虎が円陣を組む。

政虎

「それでは頑張ってください！後、風速12Mなのでお気をつけ
（笑）」

ikki

「マジかよー？」

QVCマリンフィールドは海風の影響で風が強い時がある。過去に
「強風による中止」があるほどだ。

今回はバックネット方向に12Mの風が吹く。

アナウンス

「それでは小説ウイニングスの選手が守備に着きます。」

応援

「ワ～！」

ikki

（嫌だな～、マリンで風が強いのは）

「ikki! iki! iki! iki! iki! ...」

スタンンドからikk-iさんを応援する「ホールが聞こえる。

アナウンス

「一回の表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、ショート、中野梓
！」

桜ヶ丘ティータイムはアウエイなので入場曲は無しである。

応援

「かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あずさ！かつ飛ばせ！かつ飛ばせ！あ
ずさ！」

敷田主審

「プレイ！」

ikk-i

(最初どうします？)

セブンの独り言

(打ち上げるのは厳禁！低めにシンカーを)

ikk-i

(ア解)

ikk-iさんが振りかぶって投げる！

【ペジコー】

中野梓

(ボール…)

敷田主審

「ストライク！」

中野梓

「え？」

セブンの独り言
「ナイピー！」

i k k i

「ふう」

セブンの独り言
（次も低めにシンカー…）

i k k i

（了解）

【ピシュー】

中野梓

（これはストライク？）

【バシー】

敷田主審

「ストライクツウ！」

中野梓

「ええ！」

平沢唯

「あ～ずこちゃん、バット振らなかつたらアウトだよ～」

真鍋和

「唯…」

平沢唯

「なに？」

真鍋和

「マトモな事言ひわね…」

中野梓

（次は…）

セブンの独り言

（内角低めに直球）

i k k i

(OK)

【ピジコー】

中野梓
(来た！)

【カキン！】

セブンの独り言
「しまつた！」

紀葉さんとウルトラマンゼロさんの間を…

ウルトラマンゼロ

「シユワ～」

中野梓

「ゲツ～」

しかしそのまま一墨送球するが…

【バシ！】

【ダン！…】

しら

「アウト…」

村田墨審

「セーフ」

中野梓

「こやあ～」

奥深つた為、内野安打に…

i k k i

「クツン…」

アナウンス

「一番、ライト、秋山灘」

応援

「決めろー・決めろー・灘！・決めろー・決めろー・灘！・」

実際秋山灘はバントの構えだ。

「決めろー」とは送りバントの事である。

紀葉

(前進、前進)

しら

(内野は全員前進してゐるな…)

i k k i

(高めに投げたい)

セブンの独り言

(高めに…)

i k k i

（…）

(よしあた)

【ピシュー】

【力キン!】

i k k i

「あ！」

まさかの秋山、バスターで打つ。

しかしボールに力無く、セカンド s c a r l e t のフライ…

s c a r l e t

「え？え？」

i k k i

「はあ～」

しら

「うそお！」

一塁の方向に来て1、2塁間にポトリ

その隙に一塁ランナーは二塁へ

いきなり無死1、3塁のピンチ！

セブンの独り言

「今のがマコーンの恐怖…」

しづ

「12月って凄いですね」

紀葉

「憂でゲッソに取りましょひー。」

i k k i

「ああ、1Jの際1点はあげるわ」

アナウンス

「三番、カード、平沢憂」

セブンの独り言

（…しかし高めだと風でひつなむか分からないし低めは読んでるだ
らつむ…）

i k k i

（様子見を）

セブンの独り言

（様子見るかあ）

【ペシコー】

敷田主審

「ボール！」

ikk i

(それで内角にシンカー…)

セブンの独り言

(外角にシンカーを)

ikk i

(いや内角に)

ikk iさんが顔を横に振る。

セブンの独り言

(じゃあ内角?)

ikk i

(やうそー)

ちなみに平沢憂は

平沢憂

(ikk iさんのさつきの振りはセブンさんが内角要求したのを外角してくれつて頼んだんだわ)

ikk i

(ほい!)

【ピシュー】

平沢憂

「しまつた!」

ついバットがはじつめ。

【カーキン】

フライだ！

ikkii

「キャッチャー！」

セブンの独り言

「オーライ！」

しかし打球は…

フェアゾーンからファウルゾーンへ…

セブンの独り言

「とつとつと…あー…

セブンの独り言ささんが足を滑らし、転倒しきかけ打球が

敷田主審

「アウー…

セブンの独り言

「え？」

紀葉

「間に合つた…」

三塁から全速力で走ってきた紀葉さんがスライディングキャッチを決めた！

ライトスタンンド（小説側）

「オ～！」

平沢憂

「凄い…」

平沢憂も感服するしかない。

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

すると今まで流れていた。「広島東洋カープチャンステーマ？」から元千葉ロッテマリーンズの西岡剛選手の2009年までの応援歌「カチューシャ」に変わった。

応援「オ～オ～オ～オ～オ～オオ～オ、オ～オ～オ～オオオ…」

i k k i

（むしろ…律より憂の方が怖かつたw）

セブン独り言

（低めを引っ掛けましょー!）

【ペジムー】

田井中律

「もりつたあ！」

【カキンン】

s c a r l e t

「はあい」

s c a r l e t が取つて一墨へ

ウルトラマンゼロ

「そ～れ」

一出川墨審

「アウト！」

リズムに乗つてウルトラマンゼロさんが一墨へ

しら

「アウト！」

村田墨審

「アウト！」

田井中律

「あ～あ～！」

4—6—3のダブルプレー！

無死1、3塁のピンチからikkiriさんが乗り切った。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】試合開始！一回表（後書き）

桜ヶ丘 0 — 0

小説
—

桜ヶ丘

平沢唯／田井中

小説

ikkii／セブンの独り言

【一回表】

? 中野梓

? 秋山澪

2ストライクと追い込まれたがレフト前にヒット。

送りバントの構えを見せたがヒッティング、12Mの風も味方しライ

イト前にヒット。

? 平沢憂

狙いを外されキャッチャーフライと思いきや、またしても12Mの風が邪魔するが、三塁紀葉が好補。

? 田井中律

攻撃的な打撃が裏目に出で、
4—6—3のダブルプレー。

【小説ウイティングス対櫻ヶ丘ティータイム】一回裏（前書き）

途中で作者さんの名前が呼び捨てになつてゐる箇所が少しあります。

ご了承ください。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏

桜ヶ丘ティータイムの攻撃が終わり、桜ヶ丘ティータイムの選手が守備につく。

政虎

「先発平沢唯ですか」

i k k i

「どうなんだろ？ 彼女？」

平沢唯

「行くよりつちゃん！」

田井中律

「来い唯！」

平沢唯が投球モーションに入った。

阪神政虎

「なんだあれ！？」

双樹楨

「うわ！」

千歳涼介

「始めてみるなあのフォーム」

紀葉

「変則か」

阪神政虎

「あつ、でもあれヒラヒラ投法だ！」

ikkii

「よく見るとそうだね」

阪神政虎

「打てなくは無いだろ？」

双樹楨

「はい」

阪神政虎が先頭打者の双樹楨さんに話しかける。

アナウンス

「1回の裏、小説ウイニングスの攻撃は、1番、ライトオ、双樹楨」

双樹楨

「ウッシ！」

田井中律

（唯、最初は様子見のボールな）

平沢唯
(うん)

唯が振りかぶつて投げる。

【バシ】

敷田主審

「ボール」

双樹樞

(これは様子見だな)

田井中律

(唯、次はコレ)

平沢唯

(うん)

【ピジョー】

双樹樞

(おつと)

【バス】

敷田主審

「ボールツウ」

双樹樞

(ボールが手前で落ち込んだ、チエンジアップか?)

双樹樁はそう考える。

田井中律

(唯、決めちやえ!)

平沢唯

(うん!)

【ピシュー】

双樹樁

(ストライクゾーンに来た!)

【カキン!】

打ち上げてしまつた。

双樹樁

「畜生!」

しかしやつぱり12Mの強風が邪魔し…

バックネットに当たり

敷田主審

「ファールボール!」

双樹樁

「ふう~」

田井中律

「え～、こんなのがり？」

双樹楨は構え直す。

ライトスタンンドから声援が聞こえる。

「双樹！ヒット！双樹！ヒット！」

双樹楨

(じやあせ)

平沢唯が投げる。

【口】

双樹楨

(こんなのもありな訳だ)

カード裏へのセーフティーバント

意表をつかれた裏がボールを素手で掘み投げよつとするが

双樹楨

「はいセーフ」

平沢憂

「遅かつた…」

俊足の双樹樋が墨に出る。

アナウンス

「一番、レフト、鷹峯瑠！」

「黄金魂」の曲に合わせて鷹峯がバッター・ポックスに入る。

唯は一墨にランナーがいるためクイックになる。

鷹峯

(監督、バントしますか?)

鷹峯は阪神政虎に「バントするか」の確認をする。

阪神政虎

(まだいいよ)

それを拒否

阪神政虎

(ゲッターでもいいから当たつていけー)

平沢唯がクイックで投げる。

【ピシュー】

【カキン!】

初球を上手くレフトに打った。

「オ～オ～オ～オ～オオ…」

ヒットテーマが流れ。

アナウンス

「三番、サークル、紀葉！」

無死1、2塁のチャンス！

打席には主力打者の紀葉さんが立つ。

観客？

「紀葉さん、打って～」

だからチャンステーマ発動である。

「紀葉さん！」

紀葉さんの場合、元々の曲が福岡ソフトバンクの内川のヒットイングマーチなので、福岡ソフトバンクの「ワッショイ」がチャンステーマに使われる。

「ワッショイワッショイ…」

紀葉

「すう～、はあ～」

打席の中で深呼吸する。

「紀葉！」

紀葉

（風はセンターから吹いてるから、長打は無理、だから軽打で相手のミスを誘う！）

【ピシュー】

敷田主審

「ストライク！」

紀葉

（そのためには外角の球が欲しい）

田井中律

（外角にボールを）

平沢唯

（はい）

平沢唯が振りかぶつて投げる。

外角のボールだが

紀葉

（。。。。キター！）

【ガキン！】

田井中律

「ボール球を打った！？」

ボールはショートの中野梓の田の前に落ちる。

田井中律

「あずさー、一塁ー。」

中野梓

「はいー。」

一塁に送球し、アウトになつたが

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロー。」

ウルトラマンゼロ

「シコワー。」

大型遊撃手である。

ここで初めて山中監督が動く！

山中わわ子

（敬遠しない）

田井中律

（はい）

平沢唯

(わかった、さわちゃん)

そして…

敷田主審

「ボールフォア！」

一死満塁

やつぱりチャンステーマが止まらない！

しら
(よつしゃ)

しらわんが氣合いを入れ直す。

田井中律

(外野バック、バック)

外野が微妙に下がる。

「ワッショイ！ワッショイ！」

最早、外野スタンドはお祭り状態だ。

平沢唯

(りつちゃん、私低めに投げたい)

平沢唯が田井中律にそつ要求する。

田井中律

(いいよ)

しかしこれが命取りになる。

【ピシュー】

田井中律

「あ！！」

ボールが高めに来た。

しら

「もうつたあ！」

【カアキインー】

渴いた音が聞こえた。

レフトの真鍋和が下がる下がる。

がら空きの外野に落ちた。

「ワアアアアアアアアアア！！」

ライトスタンンドから歓声があがる。

真鍋和が打球に追いついて投げても既に3人が返ってきてた。

しらのタイムリー3ベースヒットである。

マウンドに集まる桜ヶ丘ナイン

田井中律

「唯ドンマイ、私が悪かった」

平沢唯

「別にいいよ、失投した私も悪いから」

中野梓

「まだ一回ですから」

田井中律

「それより得点されたショックを體負つたよ」

平沢唯

「うん！」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言

セブンの独り言

「ウツシ！」

「続け～、続け～セブン～続け～、続け～セブン～」

一死三塁

レフトスタンンドに陣取っている広島応援団は複雑な気持ちだ。

なぜならいつもなら自分がやる曲だから

平沢唯

(どうするの?)

田井中律

(パワーで押すタイプだから低めで)

平沢唯

(はーい)

【ピシュー】

セブンの独り言

(初球は見送る)

敷田主審

「ボール!」

律は唯にボールを返した瞬間、「力抜け」とジェスチャーした。

平沢唯

「ふう~」

一回深呼吸した後、律を見る。

セブンの独り言

(俺みたいなバッターだつたらボール球誘つて引っ掛けのはずだ)

自分もキャッチャーであるセブンの独り言は律のコードを予測する。

田井中律

(徹底的に低めを攻めるよ)

【ペシコー】

敷田主審

「ボールソウ！」

セブンの独り言

(低めを中心に攻めるなあ)

セブンの独り言は敷田主審にタイムをかけた。

敷田主審

「タイム！」

セブンの独り言はバットを構え直す。

セブンの独り言

「どうも」

敷田主審

「プレイ！」

田井中律

(低め！低め！)

平沢唯

(うん!)

ちなみに内野はバックホーム態勢である。(前進守備)

【ピシュー!】

セブンの独り言
(これもボール)

敷田主審

「ストライク!」

セブンの独り言
「ぐつ…」

2ボール1ストライク

平沢唯

「ほい!」

【ピシュー!】

【ガキン!】

ボールはファウルゾーンへ

村田墨審

「ファール」

山中セワ子

「アイツ粘るわね…」

セブンの独り言

「ふ～」

平沢唯

「つつかやんじょうへ

田井中律

「落ち着け唯

セブンの独り言

(低めにヤマはるか)

平沢唯がサインを確認する。

田井中律

(徹底的に低め)

平沢唯が振りかぶって投げる。

【ピュードーム】

低めの直球

【カキーン！】

狙い打ちした。

打球はライトに飛ぶ飛ぶ…

しかし風に戻される。

しら

「タッチアップかな？」

さあライトの秋山澪が捕球する！

三塁「一チ

「GO！」

しらさんガタッチアップ！

田井中律

「ノーカット！」

中継しないで直接投げるよう指示。

ライトから良い球が返ってくる！

しらさんがホームベースに突っ込む！

【ズザザザザザ…】

判定は…

「セーフ！」

敷田主審

しら

「よつしゃー」

阪神政虎

「4点目ー」

小説4—0 桜ヶ丘

山中監督がマウンドに行く。

山中さわ子

「唯大丈夫よ、落ち着いていきなさい」

平沢唯

「うん……」

アナウンス

「七番、センタア、千歳涼介」

B - N 「D o n - t w a n n a l i e」が流れる。

千歳涼介

「まさか1回で打席に立つとは……」

阪神政虎

（初回に4点も取れたのは凄い……）

i k k i

「すいません、俺は準備しといた方がいいですか？」

わざわざまで。
「あんは鷹峯さんの打席の時からグランジの片隅で投球練習をしていたが、もう七番なので打席に立つ準備をするかと聞いてきた。

阪神政虎

「うーん、八番のscarletさんが打席に立つたら準備して」

【カキン!】

阪神政虎

「あーー！」

二出川墨審

「アウトー！」

千歳涼介

「チツ」

阪神政虎

「ナイスバッティング！」

千歳涼介さんはジャストミーティングしたが、余りにも当たりが良すぎでセカンドライナーに終わった。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】1回裏（後書き）

1回裏終了

桜ヶ丘 0 — 0

小説 4 — 4

桜ヶ丘 平沢唯／田井中律

小説 i k k i /セブンの独り言

【小説ウイニングス】

? 双樹 樟

意表のセーフティーバントで出塁。

? 鷹峯 瑛

初球打ちでレフト前ヒット。

? 紀葉

上手くショートゴロで後に繋げる。

? ウルトラマンゼロ

敬遠される。

?しら

平沢唯の高めの失投を巧打。普通ならホームランだが12Mの風により3ベース。

?セブンの独り言

ライトへの犠牲フライで4点目。

?千歳涼介

ジャストミーティングしたがセカンドライナー。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表（前書き）

他球場の途中試合経過

学園都市、ゴールデンガールズ対マリオマリナーズ（明治神宮野球場）

学園都市 1—0 マリオ（2回表終了）

【学園都市投手】

佐天

【マリオ投手】

ドンキー

インテックス対亀有ポリスマンズ（横浜スタジアム）

インテックス 0—3 亀有（2回表途中）

【インテックス投手】

上条

【亀有投手】

両津

ポケットモンスターZ対ジャイアンズ（わかさスタジアム京都）

ポケットモンスターZ対ジャイアンズ（1回表途中）

【ポケット投手】
サトシ・レッド

【ジャイアンズ投手】
剛田

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表

先制のタイムリー3ベースヒットを放つたしらさん応援団がコールする。

「ダラン」
「ダラン」

二五

「お、たとへ、」

しらさんがライトスタンドへ応える。

スタンドが湧く。

アナウンス

「2回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、五番、ファースト、琴吹紺」

「一ノ二」

セブンの独り言

(パワー・ヒッターだ、気をつけろ...)

内野は後退する。

紀葉

(カードに来い、捌いたる)

「む～ぎー・む～ぎー・む～ぎー・」

広島応援団の元、レフトスタンンドではスクワット応援が行われる。

セブンの独り言

(最初はボールで)

i k k i

(了解)

【ピシュー】

琴吹紬

(フフフ…)

【力キン!】

i k k i

「な!」

外のボール球を振った。

しかも…

しら

「はつや!」

ファーストを抜けた。

しぃ

「なんだ今の一?」

紀葉

「はええ…」

琴吹紬

「フフフ…」

i k k i

「またノーアウトでランナーか…」

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

平沢憂同様に打てる6番打者である。

真鍋和

(上手く風に乗せて行けば)

そつ考える真鍋和

紀葉

(風に乗せるかも)

i k k iさんが振りかぶって投げる。

【ピシコー】

内角高めの直球だ。

【カキンー】

それを打つ。

s c a r l e t

「とれへんわ」

打球はちょっと押し戻されてセンター前に

千歳涼介

「これで無死1、2塁かあ」

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

紀葉

「タイムお願いします」

小寺墨審

「タイムー」

紀葉さんがマウンドに駆けつかる。

紀葉

「…k-k-k-kさん、4点フードなんでのんびり行かねえしょ」

i k k i

「そうですね、4点取られてもいいんですから」

紀葉さんのがサーブに戻り、試合再開

山田わわ子

「4局ビハインドかー。この回一局でも多く返すわよー。」

ikkさんの振りかぶって投げる。

【ピシュー】

鈴木純

「わっー。」

敷田主審

「ストライクー！」

鈴木純

（手前で球が伸びてる…）

セブンの独り言

（吹つけれたよつだな）

ikk

（今の俺はド真ん中に投げても打たれないぜーーー。）

セブンの独り言

（外角高めに変化球）

ikk

(了解!)

【ピシュー】

鈴木純

「うー」

敷田主審

「ストライクツウ！」

鈴木純

(今の振つたら確実にゲッターだった…)

セブンの独り言

(引っかかれよ…)

そう悪態をつくセブンの独り言

セブンの独り言

(それでは内角低めに沈むシンカーで、ボールになつてもいいです)

i k k i

(はい)

【ピシュー】

鈴木純

「これ打てるー！」

【カキンンー】

打球はショートへ

ウルトラマンゼロ

「シユワチー！」

ウルトラマンゼロちゃんが思い切りジャンプするが…

小寺墨審

「フュアー！」

レフトヘッド

無死満塁

アナウンス

「八番、セントア、奥田直」

「誰だあーーー？」

観客の野次が飛ぶ

今年から始まった「けいおん！在校生編」の新キャラである。

奥田直

「はあーーー！」

果てしなく奥田直は落ち込んでいる。

奥田直

(なんで斎藤さんが選ばれないのですか?...)

セブンの独り言

(まあ「イツだつたら満點エヌ無いな...」)

i k k i

(代打出してやれよ...)

i k k iさんも低評価だ。

セブンの独り言

(「」でゲッターにしますか)

i k k i

(はい)

【ペシワ...】

奥田直

「わあ！」

敷田主審

「ストライク！」

セブンの独り言
「エツittんの?..」

奥田直

「え...」

セブンの独り言

(雑魚だから別に真ん中でもこ ciòよ)

i k k i

(はこ)

【パンシュー】

奥田直

「あー」

【カアキンー】

紀葉

「もつと」

【バシジー】

小寺豊審

「フニアー」

打球は三塁紀葉へ

紀葉さんが三塁ハンマーの琴吹紺を確認すると

ホームフォースアウトには間に合ひ

しかし紀葉さんは三塁を踏む

小寺監審

「アウト！」

二塁フォースアウト

紀葉

「セカンドオー！」

セカンドへ送球。

s c a r l e t

「よつしゃあ！」

s c a r l e t さんが二塁でセカンドフォースアウト。

s c a r l e t

「ひらせんー！」

s c a r l e t さんがしらせんに送球する。

最悪トリプルプレーだが

奥田直

「わあああー！」

こけたよつなヘッドスライティングだが

村田監審

「セーフー！」

「つまおおお…」

ゲッツーだが1点を返した。

小説4-1 桜ヶ丘

奥田直

「ハアア～」

しら

「ナイスファイト」

奥田直

「あ、ありがと!」「わこまく…」

アナウンス

「九番、ピッチャー、平沢唯」

「ゆーいちやーん!」

平沢唯

「よつしー」

セブンの独り言

(コイツは良く分からぬな…天然キャラだけに)

ikk i

(どうします?)

セブンの独り言

(とりあえず内角に威嚇)

i k k i

(威嚇ですね)

【ピシュー】

平沢唯

「ヒヤア！」

敷田主審

「ボール！」

阪神政虎

(危ないな今の…)

セブンの独り言

(やり過ぎ…今失敗したら危険球退場だぞ…)

i k k i

(威嚇だけに)

セブンの独り言
(次は外角で)

【ピシュー】

【カキンン】

i k k i

「 むう しゃあー。」

i k k iさんが捕球し一塁へ

村田監審

「 アウトー。」

無死満塁から紀葉さんのナイス判断力もあり一点で抑えた。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回表（後書き）

桜ヶ丘 0 1 — 1

小説 4 — 4

【桜ヶ丘】

平沢唯／田井中律

【小説】

ikkii／セブンの独り言

? 琴吹紬

田の覚めるような弾道でライトにヒット

? 真鍋和

風に上手く乗せてセンターにヒット

? 鈴木純

レフト前ヒット

? 奥田直

カード「ロ」で紀葉さんがホームフォースアウトよりゲッターかトリ
ブルプレーにした方がいいと判断し、ゲッターに

? 平沢唯

内角への威嚇球でビビったのかと思いきや外角のボールは打つたが
ピッチャーゴロ

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回裏

4—1と小説ウイニングス3点リードの中、打席にはscarle
tさんが立つた。

平沢唯

「よしー！」

田井中律

「しまつていぐぞーー！」

そう叫んで田井中律はマスクを被る

田井中律

（最初はチーンジアップだ）

平沢唯

（うんー）

【ピシコー】

【カキンー】

田井中律

「セカンドオー！」

鈴木純が華麗に捌いて1アウト。

アナウンス

「九番、ピッチャー、ikkii」

ikkiiさんが打席に立つ。

ikkii

(俺ピッチャーだからこゝは三振で行こう)

そして…

敷田主審

「ストライクバッターアウト！」

それと同時に名物の「兀」が見れた。

阪神政虎

「あれが敷田さんの兀かあ」

バッターは一巡して一番双樹樁

運動会でお馴染みの「天国と地獄」が流れる。

平沢憂

(またセーフティーがあるかも…)

平沢憂が前進する。

田井中律

(こいつには初球チエンジアップで…、セーフティーがあるかも知
れないから)

律もそう考える。

平沢唯

(わかつた)

【ペシコー】

【サツ】

敷田主審

「ボール！」

ちよつと低め過ぎてボール。

田井中律

「次は高めに直球」

平沢唯

「わかつた」

【ペシコー】

すると双樹楓が、バットを持ち替える。

田井中律

「しまつた！」

【カキン！】

バスターである。

前進守備の平沢憂へ流し打つ

平沢
憂

「キヤア！」

しかし打球は

中野
梓

「ニヤア！」

中野梓がキヤッチ！

そして送球。

村田墨審

「アウト」

3者凡退

阪神政虎

「嫌だなあ……この感じ……」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】2回裏（後書き）

【2回裏終了】

桜ヶ丘 01 — 1

小説 40 — 4

【桜ヶ丘】

平沢唯／田井中律

【小説】

ikkii／セブンの独り言

? scarlet

チエンジアップを打つがセカンドゴロ

? ikki

見逃し三振

? 双樹楨

バスターするが中野梓のファインプレーでチエンジ。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】3回表

アナウンス

「3回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、ショート、中野梓」

「かつ飛ばせーかつ飛ばせーあずさーかつ飛ばせーかつ飛ばせーあ
ずさー！」

レフトスタンドからかつ飛ばせコールが聞こえる。

そしてワライタースタンドの一部のファンから

「サークルライナーあすたーサークルライナーあすたーサークル
ライナーあすたー！」

試合中の作者みたいな事をやっているファンがいた…

ちなみにこれを読売の長野にやつたら本当にサークルライナーになつ
てくれたw

そして我らがドヤ顔新井さんと紀葉さんだったり期待度は遙かに違
う。

新井>紀葉

そつ話しているついで2ボール2ストライク

中野梓

「打つてやるです！」

i k k i

(セブンセ...、フルカウントにします?)

セブンの独り言

(ここで勝負を決める! 内角に直球!)

【ピシュー】

中野梓

「にやあー！」

【カキン!】

i k k i

「うわあー！」

i k k iさんの股間を破りセンター前ヒット。

山中さわ子

「いいわよ～あなた達」

アナウンス

「一番、ライト、秋山澪」

山中さわ子

(3点差だから送りバンドなんかせずにガンガン行くわよー)

秋山澪

(むしろバンドしたほうがいいと思ひ…)

「熱く！熱く！ぶち当たれ！」

秋山澪

「ヒイ！」

突然、レフトスタンドが「ライジングテーマ」が始まった。

ライジングテーマ…横浜チャンテ

中野梓の応援歌に横浜の石川を使っているため、勢い余った応援団
がやり始めてしまった。

阪神政虎

「この歌いいよね」

秋山澪はガチガチだ。

セブンの独り言

(なんだこいつ、ガチガチに緊張してるな…)

i k k i

(それじゃ外角低めに直球)

【ピシュー】

敷田主審

「ストライク！」

平沢唯

「みおちゃんリラックス！」

秋山澪はバッター ボックスから離れて深呼吸

セブンの独り言

「大変だな」

i k k i

(次：低めにシンカー)

セブンの独り言

(いいよ、ボールにしろ)

【ピシュー！】

秋山澪

「ヒィー！」

【カキン！】

敷田主審

「ファウルボウル！」

2ストライクに追い込まれた。

阪神政虎

「まずこれでバンドは使えない……」

セブンの独り言
(一球間を開ける、ボールにしろ)

i k k i

(了解)

【ピシュー】

敷田主審

「ボール」

平沢
憂

「濁せんじつかり！」

セブンの独り言

(ラスト！)

i k k i

(おっ！)

【ペシュー】

【バス！】

敷田主審

「スタートライクアウト！」

兀！

秋山 淩

「ハア…」

アナウンス

「三番、サーブ、平沢憂」

セブンの独り言

（一番嫌なバッターだ…）

i k k i

（初球高めのスライダー）

セブンの独り言

（絶対ボールにしろ）

【ピシコー】

敷田主審

「ボール！」

山中やわ子

「憂ちやんファイト！」

平沢唯

「う~い~！」

風は相変わらずの12M

セブンの独り言

（低めにお願いします）

i k k i

(了解)

【ペシコー】

【カキーン】

紀葉

「くつ…」

打球はサーード紀葉の頭上！

フェアかファウルか…

小寺墨審

「フホア！」

ギリギリフホア！

打球はレフトを転々とする。

レフトの鷹峯がようやくフホンスにつけた打球を送球。

セブンの独り言

「く…」

一死2、3塁

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

さつきゲッターに終わった四番打者である。

田井中律

「行くわよ!」

セブンの独り言

(一墨空こじるナビ)

阪神政虎

(敬遠するなよ)

阪神政虎は外野陣にバックホームの態勢を指示。

山中さわ子

(あつちは外野フライを狙ってるわね)

i k k i

(高めのフライ?)

セブンの独り言

(だから高めに、ボールが分からぬうつな奴)

i k k i

(ア解)

【ピシコー】

田井中律

「よつしゃあ！」

【カキン！】

i k k i

「外野行つたぞ！！」

センターへ打球が

三塁ランナーの中野梓はタツチアップの構え

千歳涼介

「バックホーム！！」

そう叫んでバックホーム！

三塁ランナー中野梓タツチアップ！

セブンの独り言

「ノーカット！」

i k k i

「おつと」

送球はワンバウンドでホームへ

タイミングは微妙だ

セブンの独り言はタツチするが

セブンの独り言
「タツチタツチ！」

敷田主審
「セーフ」

「ワアアアアアアア！」

小説4-2 桜ヶ丘

一三墨ランナーは三墨へ

二死三墨

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紺」

さつきはライトヘ弾丸ランナーを放つた紺がバッターボックスへ

山中わわ子

「いけいけ！」

4点差から2点差に…

阪神政虎

（あちひかさんイケイケムードだなあ…）

セブンの独り言

（嫌なバッターだコイツも…）

i k k i

(どひします?)

セブンの独り言

(まあこの風ならパワーがあつても『届かない』よな)

i k k i

(やうだな)

【ペジコー】

【カキン】

i k k i

「あー」

【バシー】

紀葉

「よつしー」

小寺墨審

「アウトウー」

三野川イナー

阪神政虎

「INの回数を返すやー。」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】3回表（後書き）

【3回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 — 2

小説 4 0 — 4

? 中野梓

センター前ヒット

? 秋山澪

見逃し三振

? 平沢憂

三塁線を突き抜ける2ベースヒット

? 田井中律

センターへ犠牲フライ

? 琴吹紗

サードライナー

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】3回裏

3回裏開始前に小説ウイニングス側が円陣を組む。

阪神政虎

「ちょっと場の空気が悪いです」

双樹樞

「とこうと？」

阪神政虎

「スコアボードを見てください」

そつまつてみんな一斉にスコアボードを見る。

すると

しら

「あー！」

紀葉

「あれ？」

阪神政虎

「気づいてるかもしませんが、ヒット数桜ヶ丘7本に対してもウチ
らは4本です」

ikkii

「効率よく点が獲れてる証拠じゃん」

阪神政虎

「逆に見れば、押されでます」

i k k i

「まあ そうだね…」

阪神政虎

「そこ」でこの回から2ストライクまではボールを見送つてください」

しら

「何ですか?」

阪神政虎

「ティー タイム先発の平沢唯… 彼女はもう体力限界まで来ています」

紀葉

「スタミナ無いんですね」

阪神政虎

「そこで一気に削ります」

千歳涼介

「分かりました」

アナウンス

「3回裏、小説ウイニングスの攻撃は2番、レフトオ、鷹峯瑛」

「鷹峯さん!」

「セーフティーセーフティー！」

鷹峯

「よしだつた！」

鷹峯さんはセーフティーの構えを見せる。

田井中律

(セーフティー？)

平沢唯

(セーフティー！？)

【ペジコー】

投球と同時に平沢唯は走る！

しかしバットを引く。

敷田主審

「ボール！」

田井中律

「何だよ…」

続く一球目

鷹峯

(バント…)

平沢唯

(また?)

また投球と同時に走る。

しかし見送る

敷田主審

「ストライク！」

田井中律

(參つたな……搖ゆふつてゐる……)

田井中律はそつ考へると平沢唯を見る。

彼女は明らかに肩で息をしてくる。

田井中律

(不味いな……)

田井中律はまじ真ん中に投げるよつて指示。

平沢唯

(わかつた)

【ペジコー】

また見送る。

敷田主審

「ストライクツウ」

阪神政虎

「いいぞいいぞ」

田井中律

（次は高めの直球）

【ピシュー】

【カキイ…】

敷田主審

「ファウルボール」

ワザと鷹峯さんは振り遅れる。

確實に粘っている証拠だ。

平沢唯

「ハアハア…」

田井中律

「唯、頑張れ！」

平沢唯

「う、うんりつちゃん」

平沢憂

「お姉ちゃん…」

ベンチでは

山田わわ子

「曾我部さん肩作つて」

曾我部恵

『分かりました』

ブルペンに電話する。

結局、鷹華さんは四球で出塁。

アナウンス

「三番、サークル、紀葉」

紀葉さんはネクストバッターズサークルでバットを回しながら打席に立つ。

2ストライク戦法は変わらない

紀葉

(だけどね)

【ピシュー】

紀葉

「上手い所に来たら打つ！」

【カキン！】

中野梓

「わあ！」

ショートを超えた。

レフト前ヒット

ウルトラマンゼロ

「あ、今度は打たせてくれよ…」

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロ」

「ワアアア！」

スタンンドが湧く

「頼んだ！」

ウルトラマンゼロ

「シュワッ！」

田井中律

(ビハーチョウヘー…)

平沢唯

(つちぢゅうそ～)

平沢憂

「タイム、お願ひします」

小寺墨審

「タイム」

平沢憂はマウンドに行く

平沢憂

「お姉ちゃん、頑張って」

平沢唯

「う~い~」

平沢憂がサードに戻り、試合再開

平沢唯

「それ

【ピシュー】

高めのボール

田井中律

「マズい!」

【カキンン!】

平沢唯

「あー」

打球はレフトとセンター…

奥田直

「あ…、あ…、あ…」

真鍋和

「奥田さんー任せでー!」

奥田直

「はいー!」

しかし打球は

真鍋和

(これホームラン?)

ホームランかと思つたら

【ガシャンー】

風に戻されてもフェンス激突の当たり

バウンドボールを捕つた真鍋和は中継の中野梓に投げる。

真鍋和

「ショートー!」

しかしその間に鷹峯さんはホームイン

紀葉さんも三塁回転。

中野梓がボールをキャッチ！

田井中律
「バツクホーム！」

中野梓

「はい！」

ボールをホームに送球。

【ズザザザザザ】

田井中律

「わあ！」

クロスプレーと思いつきや、田井中律はショートバウンドした送球を取り損ないセーフ。

その間にウルトラマンゼロさんがホーム突入。

平沢唯

「りつちゃん！」

てつきり三塁に止まつたと思った田井中律はビックリするがホームにボールを投げる。

【パシ！】

ウルトラマンゼロ
「ショコワ！」

【ズザザザザザ】

平沢唯

「キャア！」

平沢唯は転倒し…ボールを落とした。

敷田主審

「セーフ」

阪神政虎

「よつしゃあー！」

i k k i

「やつた！」

ウルトラマンゼロさんのランニングホームラン！

小説7-2 桜ヶ丘

そして、山中さわ子監督がマウンドに向かい

山中さわ子

「ピッチャー、曾我部恵」

敷田主審

「分かりました」

平沢唯、2回0／3、7失点で降板

田井中律

「大丈夫、敗戦投手にはしない」

平沢唯

「うん、みんなごめんね」

中野梓

「気にしないでください」

アナウンス

「桜ヶ丘ティー・タイム、ピッチャーの交代を致します。平沢唯に変わりまして、曾我部恵、ティー・タイムのピッチャー、曾我部恵」

レフト後方からリリーフカーが出てきた。

そしてそれに乗つて曾我部恵が出てくる。

曾我部恵

「平沢さん後は任せて」

平沢唯

「お願いします」

ライトスタンンドでは見計らつたように阪神応援団による相手投手ＫＯ時の曲「螢の光」が歌われ始めた。

「燃えろ！阪神タイガース！！」

そして静かな卒業ソングから一気に六甲おろしを歌い始める。

山中恵わ子

「へう…」

阪神政虎

「空気が変わった！」

規定の投球練習が終わり

アナウンス

「バッターは五番、ファースト、しら」

しら

「よつしー。」

曾我部恵

(田井中さん行きますか)

田井中律

(はこ)

【ペジコー】

しら

「おむ」

敷田主審

「ストライク！」

しら

(ボールが落ちた…フォークか?)

曾我部恵

(お次は…)

【ピシュー】

しら

(お?)

敷田主審

「ボール」

しら

(何だ今…スライダー?)

阪神政虎

(変化球が多くなって)

曾我部恵

(やして)

【ピシュー】

しら

(ん?)

敷田主審

「ボールツウ」

阪神政虎

(今の……って……)

i k k i

(まさか…)

しら

(ナックル?)

曾我部恵

(フフフ…)

田井中律

(捕るのが大変)

しら

「タイム!」

しらさんは打席から一回離れる。

ネクストバッターズサークルまで戻ってセブンの独り言せんから滑り止めのスプレーを賣つ。

セブンの独り言

「どうぞ」

しら

「ありがとう」

セブンの独り言

「ナックルですね、あれ」

しら

「やつぱり」

セブンの独り言

「そうすると厄介ですね」

しら

「だな」

しづわんは滑り止めのスプレーを使つと打席に戻つた。

敷田主審

「プレイ！」

田井中律

（ナックル多用はあまりしたくな）

曾我部恵

（分かってるわ）

【ピジョー】

しら

（ストレート）

【カキンー】

平沢憂

「やつー！」

サーードへ抜けた当たりだったが、平沢憂が上手く飛びついて送球。

【パシー】

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「六番、キャッチャー、セブンの独り言」

曾我部恵

（じゅわうバッター）

【ピシコー】

曾我部恵

（ナックルが使えるのよね）

【カキイ…】

セブンの独り言

「畜生ー！」

打球はピッチャーフロントを行きピッチャーフロ

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「七番、センター、千歳涼介」

千歳涼介

「ふう〜」

打席の中で千歳涼介さんは深呼吸。

【ピシュー！】

【カキンー】

阪神政虎

「ナイスバッティング！」

千歳涼介

「しゃあ！」

ライト前ヒットで出塁。

s c a r l e t

「よーし俺も！」

アナウンス

「八番、セカンド、s c a r l e t」

【カキン…】

中野梓

「はい！」

村田墨審

「アウト」

s carlet
「ダメでした」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】3回裏（後書き）

【3回裏終了】

桜ヶ丘 011 — 2

小説 403 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵／田井中律

【小説】

ikkini／セブンの独り言

?鷹峯瑛

粘つて四球

?紀葉

上手く引っ張りレフト前ヒット

?ウルトラマンゼロ

ファンス激突のランニングホームラン

?しら

変わった曾我部恵の変化球に躊躇されたがサード強襲のヒット性のあたりを放つ、サードゴロ

?セブンの独り言

ピッチャーゴロ

?千歳涼介

ライト前に上手く流す

? scarlet

平凡なショートゴロ

【小説ウイニングクエスト 桜ヶ丘ティータイム】4回表

3回裏終了時、記者席では

記者?

「3回で7・2か」

記者?

「やっぱり打線に迫力のあるからな」

記者?

「それにしてもピッチャーの奴出て来ないな」

記者?

「打撃練習には出てきましたけど、ベンチを眺めてもいませんね」

記者?

「やつぱり代打の練習でもしてるのかなあ?」

記者?

「一番ピッチャーだと俺は思つたんだが」

—ライトスタンダー

観客?

「ひれあん! 紀葉あん! ワルト! マンゼロあん最高!」

観客?

「ナビ! の横断幕ひいつかぬ?」

この観客は試合開始から「獣王無敗！」や「燃やせ野球魂！」等の横断幕を掲げているが、もう一枚「俺の誇りピッキー！」という横断幕がある。

要はこの小説に参加した作者さんの一人、ピッキーさんのファンだ。

観客？

「出でこなーからかあー」

観客？

「ベンチ入りメンバーにはしつかり名前が出たんだけど」

観客？

「早よ出できてくれえ」

——壁ベンチ——

ピッキー

「3回終わって7・2ですか」

阪神政虎

「けどあちらさんも当たつている」

ピッキー

「代打の用意はいつでもいいですよ

阪神政虎

「よろしくお願ひします」

アナウンス

「4回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、六番、レフト、真鍋和」

i k k i

「5点差だ、のびのび行こう」

セブンの独り言

「そうですね」

敷田主審

「プレイ！」

【ピシュー】

【カキン！】

セブンの独り言

「あ！」

i k k i

「く…」

甘く入った球を痛打されセンター前ヒット

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

阪神政虎

「しかしなあ…」

鈴木純

「わあ……」

阪神政虎

「こいつの時だけ応援が凄い」

今回のこの試合に関わらず、その選手の応援歌はその元となつた選手の所属球団の応援団がやる事になつてゐる。

鈴木純の場合、元にしたのは現広島東洋カープの石井琢朗である。

石井琢朗の場合、前所属球団が横浜ベイスターズである。

そしてなんと使われている応援歌はそのままである。

だから一緒にやることができるし、ファンも知つてゐるため、普段の倍になる。

無死一塁

i k k i

(どうします?)

セブンの独り言

(真鍋は足もある)

i k k i

(しかし5点差ですよ)

セブンの独り言

(じゃ律儀に送りバントか?)

阪神政虎

(送りバントは無い、山中監督は強行してくれる)

山中さわ子

(まずは空氣を変える事が大事)

【ピシュー】

【カキン!】

ウルトラマンゼロ

「シュワッ!」

【パシ!】

一出川墨審

「アウト」

ショートライナー

アナウンス

「八番、センター、奥田直」

奥田直

「ハワワ…」

真鍋和

(じこは…)

【ペシムー】

真鍋和

(盜墨一)

【パシー】

セブンの独り言

「マジか！？」

【ピシムー】

【パシー】

一出川墨審

「セーフ」

山中わね子

(あつがとう真鍋わん)

そして

【ハハ…】

紀葉

「送りバントかあ…」

i k k i

「ファースト」

紀葉

「はー」

村田墨審

「アウト」

二死三墨

アナウンス

「九番、ピッチャー、曾我部恵」

i k k i

(「）で断ち切りましょう」)

セブンの独り言

（そうだな）

【ピシュー】

【カキイ】

敷田主審

「ファール」

セブンの独り言

（当てにいつてる）

i k k i

（だな）

【ピシコー】

【カキン】

敷田主審

「ファール」

i k k i

「一球続けてファールか」

セブンの独り言
(だつたらもう)

【ピシコー】

【カキン!】

セブンの独り言
「転がすしか無い」

打球は一塁 scarletさんへ

s c a r l e t

「あらよつと」

【パシ!】

村田墨審

「アウト」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】4回表（後書き）

【4回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 — 2

小説 4 0 3 — 7

? 真鍋和

センター前ヒット

? 鈴木純

ショートライナー

? 奥田直

送りバント

? 曽我部恵

セカンドゴロ

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】4回裏

アナウンス

「4回裏小説ウイニングスの攻撃は九番、ピッチャー、*ikkiri*」

曾我部恵

「それじゃ行きますか」

【ピシュー！】

【バシィー！】

敷田主審

「ストライク！」

田井中律

（また振る気無し）

曾我部恵

（振らない？）

【ピシュー！】

【バシィー！】

敷田主審

「ストライクツウ！」

田井中律

(振らない…)

i k k i

(体力温存だ…、振るわけがない)

【ピシュー!】

【バシイ!】

敷田主審

「ストライクバッターアウトウ！」

兀一

アナウンス

「一番、ライト、双樹樁」

阪神政虎

「打順は早くも3巡目か」

双樹樁

(ナックルボールーか)

田井中律

(初球これで)

【ピシュー!】

双樹樁

「おつ」

敷田主審

「ストライク」

双樹樁

（初球ナックル…）

田井中律

（次は…）

【ピシュー】

双樹樁

（え？）

【バシイ！】

130km/hの直球

敷田主審

「ストライクゾウ！」

双樹樁

（クツソ）

田井中律

（3球目は…）

【ピシュー】

双樹樁

(ナツクル!!)

【力キイ…】

敷田主審

「ファール」

双樹樁

(打ちづらい…)

田井中律

(捕りづらい…、次は)

【ピシュー!】

双樹樁

(直球?)

双樹樁さんは直球と思い振りに行くが

【ストーン】

双樹樁

「な!? フォーク?」

【ブウン!】

敷田主審

「スットライクバッターアウトウ!」

「！」

双樹楨
「畜生」

アナウンス
「一番、レフト、鷹峯琰」

鷹峯

「厄介だな」

田井中律

（それでは）

【ピシュー】

鷹峯

（お？）

【カキンン】

田井中律

（しまつた！）

小寺墨審
「ファール」

鷹峯

「くつ……」

田井中律

(危ない危ない、高めにストレートが来たからヒヤッとしたよ)

曾我部恵

「ふう~」

田井中律

(それでは…)

【ペジコー】

鷹峯

(好球だあ~)

【カキイー】

打球はショート中野梓を…

【バシイー】

一出川墨齋

「アウトウ~」

中野梓のファインプレー

鷹峯

「はあ…」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】4回裏（後書き）

【4回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 — 2

小説 4 0 3 0 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵／田井中律

【小説】

i k k i / セブンの独り言

? i k k i

今後の体力の事もあり三振

? 双樹楨

三振

? 鷹峯瑛

ショート中野梓のファインプレーがありショートライナー

【小説ウイニングス対櫻ヶ丘ティータイム】5回表（前書き）

この話以降作者の独断で選手交代が行われたり、選手不足の為、内野手や外野手でも投手や捕手をやるかもしれません。

以上承ください。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】5回表

5回表開始前にグラウンドキーパーの方々がグラウンドの整備を行う。

今日は5回裏終了時に花火をやる予定だつたが、

アナウンス

「本日は強風の影響により5回裏終了時の花火を中止にさせて頂き
ます」

阪神政虎

「仕方ないな」

ピッキー

「12Mですものね」

しら

「見たかったな…」

アナウンス

「お待たせしました。5回表の桜ヶ丘ティータイムの攻撃は一番、
ショート、中野梓」

中野梓

「5点差です！打つてやるです！」

セブンの独り言

(初球内角に)

i k k i
(はい)

【ピシューー】

中野梓

「ヒヤア！」

敷田主審

「ストライク！」

セブンの独り言
(続けて外角に)

【ピシューー】

敷田主審

「ストライクツウ！」

セブンの独り言

(よし最後に…低めのストライクからボールになるシンカー)

i k k i
(はい)

【ピシューー】

中野梓

(入つてるーー)

【ブン一】

中野梓

「あ…」

敷田主審

「スツトライクバッターアウトゥー！」

兀一。

中野梓

「つう…」

i k k i

(斬り込み隊長の梓を二振一)

アナウンス

「一番、ライト、秋山澪」

秋山澪

「打たなきや打たなきや打たなきや打たなきや打たなきや」

平沢唯

「澪ちやんワラックス！」

田井中律

「澪ー・怯えるなー！」

秋山澪

「せうだ…、深呼吸…深呼吸…スウ～ハア～

セブンの独り言

(ペリッペリのペリッペリの～)

i k k i

(下、上?)

セブンの独り言

(上でお願いします)

i k k i

(はい)

【ピシコー】

秋山澪

「ヒイー！」

【カキンー】

平沢唯

「あー！」

田井中律

「何やつてんだ？」

セブンの独り言

「おつと」

【パス!】

敷田主審

「アウトウ」

秋山澪

「ヒィイ…ライト守つてこる時の応援が頭にじびり付いて…」

アナウンス

「三番、サー、平沢憂」

平沢憂

「お姉ちゃんを敗戦投手になんかしないー！」

セブンの独り言

(じやあ…)

【ペナルト】

【カキン】

紀葉

「あ、ありふれど」

【パシー】

小寺監審

「アウト」

ikk i

「やめなさい」

セブンの独り言

「よつしゃー！」

平沢憂

「お姉ちゃんゴメン」

阪神政虎

「あれ見送ればボールじゃない？」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】5回表（後書き）

【5回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 — 2

小説 4 0 3 0 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯一／曾我部恵／田井中律

【小説】

i k k i / セブンの独り言

? 中野梓

三振

? 秋山澪

キャッチャー小フライ

? 平沢憂

サーブライナー

【途中参加者募集中】

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】5回裏（前書き）

SH…福岡ソフトバンクホークス

CM…千葉ロッテマリーンズ

TH…阪神タイガース

YS…東京ヤクルトスワローズ

HC…広島東洋カープ

CD…中日ドラゴンズ

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】5回裏

～5回裏開始前のライトスタンディング～

応援団？（ＳＥ）

「次の紀葉選手の応援歌を変えませんか？」

応援団？（ＳＥ）

「やつだな、『内川』は『ロロ悪っこ』」

応援団？（ＳＥ）

「じゃあ誰にします？」

応援団？（ＳＥ）

「ウチの井口は？」

応援団？（ＳＥ）

「いいけど、男じゃないだろ？」

応援団？（エフ）

「松田選手のはどうですか？」

応援団？（ＳＥ）

「あーいいんじゃね？」

応援団？（エフ）

「じゃ紀葉選手のは松田選手に変更な

応援団？（エフ）

（…）

「えへ、皆さん！紀葉選手の応援歌ですけど、誠に勝手ながら！松田選手のに変えたいと思います！知らない方がいらっしゃいましたら、こちらの方に歌詞カードがありますので…」

アナウンス

「5回裏、小説ウイニングスの攻撃は、3番、サード、紀葉」

紀葉

「ナックルと戦えるのは嬉しい…」

紀葉さんはあることに気がついた。

紀葉

「あれ？曲違くない？」

阪神政虎

「なんか変わったね」

勿論選手達は知る由もない。

紀葉

「まあいいか」

阪神政虎

「ううう、あつこれ松田かあ」

曾我部恵

(初球外角に直球)

【ペシコー】

紀葉

「ボール」

敷田主審

「ボール」

曾我部恵

（外に逸れたわね）

田井中律

（次は入れてください）

紀葉

（次は中に入れてくれる）

【ピシュー】

紀葉

（来た！でもボール）

【バシイ！】

敷田主審

「ストライク」

紀葉

「え～」

田井中律

(もう そのと回りこむ)

【ペシコー】

紀葉

(これはボール)

【バシイー】

敷田主審

「ストライクシウ」

紀葉

(ええー)

阪神政虎

(際どいな)

田井中律

(ハストは「れでー」)

曾我部恵

(オケーー)

【ペシコー】

紀葉

(真ん中低め…ストライクーー)

紀葉さんは振りにいくが…

ボールが不自然な動きをする

紀葉

「くつ……」

【ブウンー】

敷田主審

「スットライクバッターアウト！」

紀葉

「ちくしょー」

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロ」

「ワアアアアアア……」

ウルトラマンゼロ

「ナックルがあ……」

田井中律

（今度は真ん中から落としてください）

【ペシュー】

ウルトラマンゼロ

（落ちる……）

【バシャイー】

敷田主審

「ストライク」

田井中律

(じつくつ攻めて内角に落としてください)

【ピシュー】

ウルトラマンゼロ

(見送る…)

【バシャイー】

敷田主審

「ストライクツウ」

O S B

ウルトラマンゼロ

「追い込まれた…」

田井中律

(一球見送りますか?)

曾我部恵

(そうするわ)

【ピシュー】

【ダスツー】

田井中律
「わっ！」

ボールはバウンドしてなんとか止める田井中律

田井中律
(力んでる力んでる)

曾我部恵
(じめんなさい)

田井中律

(チーンジアップお願いします)

【ピシュー】

ウルトラマンゼロ
(くつ、チーンジアップ…)

【カキイ】

中野梓

「はい！」

ショート中野梓一塁送球。

村田墨審

「アウト」

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

しら

「ナックルかあ…」

田井中律

(低めに直球)

【ピシュー】

【バシイ!】

敷田主審

「ストライク」

しら

(初球は見送りか)

田井中律

(次は高めに、但しボールで)

【ピシュー】

しら

(ボール…)

【バシイ！】

敷田主審
「ボール」

しら
(次は…ナックルかな?)

田井中律

(ナックルを一回見せてください)

【ピシュー】

しら
(これは直球かな? チェンジアップ?)

するとボールが揺れる

しら

(――?)

【バシイ！】

敷田主審

「ストライクツウ！」

しら

(あれがナックル…)

田井中律

(次は直球!)

【ピシュー】

しら

「あ!」

【カキン!】

ボールは後ろに

アナウンス

「ファールボールに気をつけてください!」

ファールボールがスタンドに

曾我部恵

「当てた…」

田井中律

(決めはナックルで)

曾我部恵

「OK!」

【ピシュー】

しら

(ゲ…)

【バシ!】

敷田主審

「スットライクバッターアウトウ！」

しら
くう
…」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】5回裏（後書き）

【5回裏終了】

桜ヶ丘 011 00 — 2

小説 403 00 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵／田井中律

【小説】

ikkii／セブンの独り言

?紀葉

三振

?ウルトラマンゼロ

ショートゴロ

?じら

三振

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】6回表（前書き）

ちよつといれから省略もします。

【小説ウイニングス対櫻ヶ丘ティータイム】6回表

「絶対勝つぞティタイム！絶対勝つぞティタイム！絶対勝つぞティタイム！」

【ダダン】「i k k i！」【ダダン】「i k k i！」【ダダン】「i k k i！」

両チームの応援合戦が凄い

アナウンス

「6回表、櫻ヶ丘ティータイムの攻撃は、四番、田井中律」

セブンの独り言
(打てない主砲)

i k k i

(打てない四番打者)

【田井中律の今日の成績】
(一併)(左犠)

阪神政虎

「四番打者で安牌なの？」

【ピジョー】

【バン!】

敷田主審

「ストライク」

今のは低めの直球

セブンの独り言

（振らない？）

田井中律

（打たなきやなあ…）

【ピジョー】

田井中律

（真ん中高め…）

【ガキイ…】

ボールは後ろへ

敷田主審

「ファール」

田井中律

（追い込まれたあ…）

セブンの独り言

（よおしこじやあ…）

【ピジョー】

田井中律

(際どいが…ボール!)

【パシ!】

田井中律

「……」

敷田主審

「スットライクバッターアウトウ!」

田井中律

「ええ!?」

山中さわ子

「ちょっと待って!」

山中監督がベンチから飛び出す。

山中さわ子

「今のごがストライクなのよー!?

敷田主審

「ベースに被つてゐ!ストライクだ!」

山中さわ子

「くつ……」

山中監督が退く

田井中律

「はあ……」

平沢唯

「りつちやん……」

アナウンス

「五番、ファースト、琴吹紬」

「むー『わらわーん!』【ダンダンダン】「むー『わらわーん!』

セブンの独り言

(下手したら一番パワーがあるかも……)

i k k i

(一球様子見ますか?)

セブンの独り言

(わうだな)

【ピシコー】

高めにウロイトボールをする。

【カキンー】

セブンの独り言

「ええー!?」

打球はレフトへ

鷹峯

「風で右にスライスしてるー。」

鷹峯瑛さんはセンターの方に走る。

千歳涼介

「鷹峯さんー無茶しないでくださいー。」

鷹峯

「オラアー！」

ヘッドスライティングする鷹峯さんだが…

鷹峯

「捕れないーー！」

琴吹紬

「一墨は行けないわね」

打球はセンター 千歳涼介さんがキャッチする。

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

セブンの独り言

(やつぱり広角に打ち分けられるから怖い)

(あの高めを打つなんて…)

セブンの独り言

(それじゃシンカーでやつてみる?)

i k k i

(シンカー…)

【ピシュー】

真鍋和

(…-シンカー…)

【カキンンー】

セブンの独り言

「狙い撃ち! ?」

打球はライトへ

双樹楨

「流し打ちされたか…」

続く七番鈴木純に四球を出してしまい、一死満塁のピンチ

その時、山中監督が出てくる。

山中さわ子

「バッター、奥田に代わり、斎藤!」

敷田主審

「はい」

敷田主審はそつとダクアウトに連絡する。

アナウンス

「桜ヶ丘ティータイム、バッターの交代を行います。バッター、奥田直に代わりまして、齊藤薫、ティータイムのバッター、齊藤薫」

齊藤薫

「奥田さんお疲れ」

奥田直

「はい」

阪神政虎

「動いたな…」

セブンの独り言

(パスボールの危険があるからシンカーは厳禁)

その時、三塁ランナーの琴吹紬が齊藤薫を威嚇?

琴吹紬

【コラ～】

齊藤薫

「ヒイ！」

多分「打たないと殺す」だと思つ。

[ページ一]

齊藤薰

【カキン】

iki

一
え?
」

千歳涼介

あれ？」

阪神政虎

「はい？」

バックスクリーン右横に…

iki

シカジイ

文藤薰

۱۰۷

信じられない顔でホームベースを回る齊藤薫。

元気よくハイタツチ

マウンドでは内野陣と阪神虎之介が集まる。

阪神政虎

「どうします？・i k k iさん」

i k k i

「俺以外に投手っていうの？」

阪神政虎

「私とレフトを守っている双樹楓さんが投手です」

i k k i

「…………」は引きます

阪神政虎

「わかりました」

そう言って阪神政虎はホームベースに行き

阪神政虎

「ピッチャーの・i k k iさんに代わり、レフトの双樹楓さんが入ります。空いたレフトにジョー・ギブケンが入ります」

敷田主審

「わかりました」

しら

「・i k k iさん大丈夫ですよ！勝ち投手の権利はありますから」

「しっかり守りますからー安心してくださいー。」

i k k i

「ありがとうございます。お願いします。」

アナウンス

「小説ウイティングス、ピッチャーの交代をお知らせ致します。ピッチャードヤーikkに代わりまして双樹楓、ウイティングスのピッチャー双樹楓、小説ウイティングス、守備の交代を行います。レフトの双樹楓がピッチャードヤー、ピッチャードヤーのikkに代わりましてジョー・ギブケンがレフトに入ります。」

双樹楓

「セブンさんよろしくお願ひします」

セブンの独り言

「双樹楓さんはどっちですか？」

双樹楓

「両投両打です」

セブンの独り言

「それは凄い！」

その後、なんとか後続を断つた双樹楓さんであった。

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】6回表（後書き）

【6回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 — 6

小説 4 0 3 0 0 — 7

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵／田井中律

【小説】

i k k i - 双樹楨／セブンの独り言

【本墨打】

ウルトラマンゼロ1号？

斎藤薰1号？

? 田井中律

三振

? 琴吹紺

ヒット

? 真鍋和

ヒット

? 鈴木純

四球

? 奥田直 - 斎藤薰 (代打)

代打満塁本塁打

? 曽我部恵

見逃し三振

? 中野梓

ピッチャーゴロ

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】6回裏

アナウンス

「6回裏、小説ウイニングスの攻撃は、六番、キャッチャー、セブンの独り言に代わりまして、ピッキー」

「エエエエエーーー！」

「オオオオオーーー！」

観客？

「嘘だろーーー？早すぎるだろーーー？」

「ピッキーわあああんーーー！」

阪神政虎

「お願いしますーーー！」

i k k i

「あのー、阪神政虎さん？」

阪神政虎

「はい」

i k k i

「キャッチャーどうするんですか？キャッチャーなのセブンの独り言さんだけですよ」

阪神政虎

「……あ」

ピッキー

(しかしあのアホ、キャッチャービットする気だよ…いねーぞ)

【ピシュー】

ピッキー

(内角…威嚇したつもりかあ…!…)

【カキン!】

代わったセンター、斎藤薰の所へ

i k k i

「ナイスバッティング！あれ？阪神虎之介さん？」

阪神政虎はホームベースの所へ行く。

その手にはバットが

i k k i

「まさか…」

阪神政虎

「代打『オレ』」

アナウンス

「小説ウィニングス、バッターの交代を行います。バッター一千歳涼

介に代わりまして、阪神政虎

応援団？（トト）

「よつしや来たぞ～～～！」

応援団？（トト）

「やつと吹ける」

阪神政虎

「よしー！」

曾我部恵

（ちよろかわい）

田井中律

（初球ナックルでお願いします）

曾我部恵

（はいはーい）

【ピシュー】

ピッキー

（盗めた）

田井中律

（ゲ…盗墨ー）

【バシーー】

田井中律

「く…」

「ワンナリー」監

田井中律

（だつたら）

【ピシコー】

【ダッ！】

田井中律

（三盗もー・）

【カキンー】

田井中律

「あー」

打球は1、2回を抜ける！

ピッキー

「よつしゃー！」

秋山澪が捕つてバックホームするが

足の速いピッキーさんは悠々とホームイン

阪神政虎

(よつしゃなんとか打てた)

そして

阪神政虎

「タイム！」

アナウンス

「小説ウィティングス、バッターの交代を致します。八番scaretに代わりまして、ユーリ、ウィティングスのバッター、ユーリ」

ユーリ

「やつと打席に立てるぜー！」

【カキンンー】

曾我部恵

「ああ…」

センター前ヒット

続くジョー・ギブケンさんが倒れて一死1、2塁

アナウンス

「一番、ピッチャー、双樹樺」

双樹樺

「一番でピッチャー…」

曾我部恵

「一番でピッチャーハー……」

田井中律

(初球ナックルで)

曾我部恵

(はい)

【ピシコー】

【ハラ～】

双樹樺

「へつ……」

【カキイ！】

ショートの中野梓が捕り

中野梓

「セカアン！」

【バシイ！】

一出川墨審

「アウト！」

鈴木純

「はーー！」

一 墓送球

【バシイー】

村田墨審

「アウト」

曾我部恵

「ふう〜」

阪神政虎

「キャッチャーデフしょ……」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】6回裏（後書き）

【6回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 — 8

【現在のスタメン】

? 双樹 横	投
? 鷹峯 瑛	(左)
? 紀葉	(三)
? ウルトラマンゼロ	(遊)
? しら	(一)
? ピッキー	打
? 阪神政虎	打
? コーリー	打
? ジョー・ギブケン	右

【お詫び】

前話で守備交代の時、レフトとライトを間違いました。この場を借りてお詫びします。
m () m

【小説ウイーンクス対桜ヶ丘ティータイム】7回表（前書き）

明けましておめでとうございます！

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】7回表

アナウンス

「小説ウイニングスの守備の訂正を致します。先ほど代わりました
i k k i に代わりましてライトの双樹樺がピッチャーに入ります。
代わりましてジョー・ギブケンがライト、ウイニングスのピッチャ
ー、双樹樺、ウイニングスのライトはジョー・ギブケン」

阪神政虎

「「めんなさい」

アナウンス

「小説ウイニングス、選手の交代致します。阪神政虎がキャッチャ
ー、ピッキーがセンター、コーリがセカンドに入れます。ウイテン
グスのキャッチャー、阪神政虎。ウイニングスのセンター、ピッキ
ー。ウイニングスのセカンド、コーリ。以上になります」

阪神政虎

「キャッチャー俺しかおらんね」

ピッキー

「別に俺、自分の作品でキャッチャーやつてますけど

阪神政虎

「でもピッキーさんは外野手でやりたいとおっしゃつてますから自
分がやりますよ」

i k k i

「監督でキャッチャーつてまるで野村克也や古田敦也だな」

阪神政虎

「そうだな……」

双樹楨

「どうします?」

阪神政虎

「双樹楨さんは右がオーバースローで左がスリークォータですか」

双樹楨

「そうですね……」

阪神政虎

「とりあえず左打者には左、右打者には右でお願いします」

双樹楨

「はい」

赤い風船の回収作業（7回表なので桜ヶ丘ティータイムのラッキー7でした。なので広島東洋カープの赤い風船が飛び交った。尚且つ今日は強風でバックホーム方面に吹いているので…）

紀葉

「三塁まで風船来た……」

アナウンス

「7回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、二番、ライト、秋山澪」

双樹楨

(阪神政虎つてどんなリードなんだ?)

阪神政虎

(イッキちゃんと違い、双樹楨さんは140の速球があるから)

【ピシュー】

秋山澪

「ひやあ!」

【バシイー!】

内角ギリギリに威嚇

敷田主審

「ボール」

阪神政虎

(お次は…)

【ピシュー】

外角高めに直球

【バシイー!】

敷田主審

「ストライク!」

田井中律

「澪ーしつかり見てーー。」

秋山澪

「うん…」

阪神政虎

(じゅあシメはーー)

【パンツー】

秋山澪

「あ…」

【カキンンー】

しき

「当てただけじゃん」

村田墨審

「アウトー。」

アナウンス

「三番、カード平沢謹」

阪神政虎

(チームじゅー一番の巧打者だけに…)

双樹慎

(どりします?)

阪神政虎

(風は左から右に変わっているから)

【ペシコー】

【カキンー】

レフトへ高々と上がるフライだが

鷹峯

「スタンディンはしないな……」

ピッキー

「打球が戻つてきてる……」

そして

鷹峯

「ハイ」

【バス】

小寺墨審

「アウト」

田井中律

「スウ～ハア～」

アナウンス

「四番、キャッチャー、田井中律」

打てない四番打者の4打席目

阪神政虎

(双樹楨さんの変化球はスライダー、カーブ、フォークにチェンジアップがある)

【ピシュー】

【ピク】

【バシイ!】

敷田主審

「ストライク」

田井中律

(初球フォーカーク…)

阪神政虎

(これで次は…)

【ピシュー!】

田井中律
(カーブ…)

【バシイ!】

敷田主審

「ストライクツウ！」

田井中律

(となると次は… チェンジアップか? 速球を見せ球にして)

阪神政虎

(内角ギリギリに直球、ボールになつてもいい)

双樹樺

(わかりました)

【ピシュー】

田井中律

「あ！」

【バシ！】

敷田主審

「ストライクバッターアウトゥー！」

兀一

阪神政虎

「次はウチのラッキーだやー！」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】7回表（後書き）

【7回表終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 0 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 — 8

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵／田井中律

【小説】

ikkii - 双樹楓／セブンの独り言 - 阪神政虎

アナウンス

「7回裏、小説ウイニングス、ラッキー7の攻撃です」

球場に千葉ロッテマリーンズの応援歌「We Love Marine
s」が流れる。

「3…2…1…発射…！」

【ピシュー】

阪神政虎

「ジェット風船はいいね」

「ファイティング！」「ファイティング！」

「絶対勝つぞ！ ウィニングス！ 絶対勝つぞ！ ウィニングス！ 絶対勝つぞ！ ウィニングス！」

7回裏からはチャンステーマメドレーです。

順番は

- ・川又チャンテ（中田）
- ・狙い撃ち（中田）
- ・ビクトリー（中田）
- ・夏祭り（ヤクルト）
- ・ルパン三世^{ヤクルト}
- ・チャンス襲来（阪神）
- ・チャンスわっしょい（阪神）
- ・ワッショイ（ソフトバンク）
- ・鷹の道^{ソフトバンク}
- ・チャンステーマ？（千葉ロッテ）
- ・チャンステーマ？（千葉ロッテ）
- ・チャンステーマ？（千葉ロッテ）

・スキンヘッヂランニング（千葉ロッテ）

阪神政虎

「無駄に長い…」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】7回裏（前書き）

リーグ戦途中経過

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】（Q×Cマリンティー
ルド）

（7回表終了）

小 8—6 桜

【小説】

ikkii - 双樹樺

【桜ヶ丘】

平沢唯 - 曽我部恵

【学園都市、ゴールデンガールズ対マリオマリナーズ】（明治神宮野
球場）

（6回裏終了）

学 1—4 マ

【学園都市】
佐天 - 絹旗

【マリオ】
ドンキー

【インデックス対亀有。ポリスマンズ】（横浜スタジアム）

（7回裏終了）

イ 0—7 亀

【インデックス】

上条・建富・五和

【亀有】

両津

【ポケットモンスターZ対ジャイアンズ】（わかさスタジアム京都）
（6回表途中）

ボ 0—17 ジ

【ポケモン】

サトシ・レッド・ダイヤ・グリーン・イエロー

【ジャイアンズ】

剛田

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】7回裏

アナウンス

「7回裏、小説ウイニングスの攻撃は一番、レフト、**鷹峯琰**」

鷹峯琰

「なんかスタンドの雰囲気が変わったな」

田井中律

(どうします?)

曾我部恵

(私は直球を投げたい)

【ピシュー!】

【バシィー!】

敷田主審

「ストライク」

鷹峯琰

(これは、見送り)

田井中律

(では変化球お願いします)

【ピシュー!】

鷹峯瑛

「カツティング！」

【力キイ】

敷田主審

「ファールボール」

阪神政虎

「2点差かあ」

鷹峯瑛

「ふう～」

曾我部恵

（ピッチャーフォーム疲れるわ）

田井中律

（これお願いします）

【ピシュー】

【ゴラ～】

鷹峯瑛

（ナックル…）

【カキンン！】

【ピー】アナウンス「ファールボールには充分お気をつけください」

三墨線を破る…

【バシイー】

小寺墨審

「アウトー」

田井中律

「憂ー」

平沢憂のダイビングキャッチで1ナウト

アナウンス

「三番、カード、紀葉」

紀葉

(そろそろ疲れが見え始めている)

曾我部恵は手で汗を拭つたりと疲労を隠せない。

紀葉

(それじゃ…)

【カキンー】

紀葉

「楽にして差し上げますか」

ジャストミートで右中間へ…

齊藤薫

「オーライ、オーライ」

秋山澪

「あれ？」

打球はドンドンライトの方へ飛んでくる。

秋山澪

「齊藤さん私に任せて」

齊藤薫

「はい」

しかし

秋山澪

「フェンスギリギリ……」

打球は

秋山澪

「え~い！」

秋山澪がジャンプ！

しかし打球はスタンドへ

「ワアアアアアアアアアアアアアア！」

紀葉

「やつた！」

阪神政虎

「おお！」

紀葉さんの一回本塁打

マウンドに全員集まる。

山中さわ子

「曾我部さん！」苦勞様

曾我部恵

「はー」

アナウンス

「桜ヶ丘ティータイム、守備交代をお知らせ致します。カードの平沢憂がピッチャー、ピッチャーの曾我部恵に代わり、立花姫花がカードに入ります。」

ピッキー

「憂がピッチャーですか？」

阪神政虎

「ある意味怖いですね」

ikk.i

「もういえば、回の途中途中でキャッチボールをしてましたね」

阪神政虎

「肩は温まつていいのか」

投球練習が終わり

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロ

ウルトラマンゼロ

「デュワ！」

阪神政虎

「どんなボールだろ……」

【ピシュー】

【バーン！】

153km

阪神政虎

「はあ？」

【バーン！】

【バーン！】

敷田主審

「スットライクバッターアウトゥ！」

兀！

その後も

【バーン！】

敷田主審

「ストライクバッターアウトゥ！」

兀！

阪神政虎

「最初からコイツ出せよー！」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】7回裏（後書き）

【7回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 0 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 1 — 9

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵・平沢憂・田井中律

【小説】

ikkii - 双樹楨 / セブンの独り言 - 阪神政虎

【本墨打】

ウルトラマンゼロ（小説）？

斎藤薰（桜ヶ丘）？

紀葉（小説）？

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】8回表

アナウンス

「8回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、5番、ファースト、琴吹紺」

阪神政虎

「コイツもコイツで怖いんだよな～」

双樹楨

（阪神政虎さん、どうします？）

阪神政虎

（パワーを裏手に取る、低めの速球）

【ピシュー】

【バシー】

敷田主審

「ボール」

阪神政虎

（今のは入れてよ）

双樹楨

（今のは入れなきやなあ…）

阪神政虎

(低めにストライクからボールにフォーカー)

双樹樺
(はい)

【ピシュー】

双樹樺
「あ！」

【カキン】

双樹樺
「しまつた！」

阪神政虎

「失投か…」

要求とは全然違つ高めの甘いボールだった。

ピッキー

「これは届くか…」

左中間に飛んだ打球はやつぱりセンターにスライスする。

ピッキー
「飛び込め！」

間に合わないと判断したピッキーさんはヘッドスライティングを試みるが

【ダン】

ピッキー

「わあ！」

僅か3cm届かなかつた。

しかもバックの鷹峯瑛さんが処理を誤りランナーは二塁へ

アナウンス

「六番、レフト、真鍋和」

真鍋和

(スクイズ?)

山中さわ子

(1点を返す!)

阪神政虎

(スクイズがある…、前進守備で)

紀葉

(はい)

しら

(来たらホームで刺す)

ユーリ

(さあここ)

ウルトラマンゼロ

(三塁にカバー)

阪神政虎

(高めに直球！打たれても外野が守るー)

双樹楨

(はいー)

【ピシュー】

【ダツー】

阪神政虎

(よしー！ランナー動いたー！)

真鍋和

(くー)

【バシイー】

琴吹紬

「！」

阪神政虎

「うつしー」

ランナー 琴吹紬は三塁に帰らひとするが

阪神政虎

「ハイ、アウト」

小寺墨審

「アウト！」

タツチアウト

真鍋和

（せつかくのチャンスが…）

阪神政虎

（これで勢いはウチにある…、次のジャイアンズ戦に向けて勢いが
つけられる）

双樹榎

（よつしや次は…）

阪神政虎

（フォーク）

双樹榎

（はい）

真鍋和

（打たなきや）

【ピシュー】

果敢にも打ちに行く！

真鍋和

(しまつた!)

時遅し

【カキイー!】

双樹檜

(よつじー・)

ピッチャーチャー、ゴロでアウト

アナウンス

「七番、セカンド、鈴木純」

鈴木純

「オッシャアアア！」

バットをブンブン回している。

阪神政虎

(ブンブン回すなあー)

【ピシューー!】

【カキンー!】

真ん中あたりの直球

しかし

ピッキー

「ヤだな、この風の流れ」

【バシ】

一出川墨審

「アウト」

ピッキー

「次は私からか」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】8回表（後書き）

【8回表終了】

桜ヶ丘	0	1	1	0	0	4	0	0	—	6
小説	4	0	3	0	0	1	1	—	9	

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵・平沢憂・田井中律

【小説】

ikkii - 双樹楨 / セブンの独り言 - 阪神政虎

【小説ウイニングス対櫻ヶ丘ティータイム】8回裏

「勝利はすぐそこ! 我が中日ドラゴンズ!」

「中日ドラゴンズ」のドラゴンズマーチが流れた8回裏開始前

しら

「しかし何で応援歌の雰囲気が変わったのかな?」

阪神政虎

「応援団が7回からチャンステーマでやっているからだね」

しら

「なる程」

アナウンス

「8回裏、小説ウイニングスの攻撃は、六番、センター、ピッキー」

ピッキー

「150の速球ならじょつかつかつ捕つていい」

詳しく述べピッキーさんの小説「プリキュアオールスターZ野球で真剣勝負!—プリキュアドリームカップ」で

田井中律

(じつゆつ実績のある選手は怖い)

平沢憂

(どうします?)

田井中律

(様子見ましょい)

【ペシコ】

【バーンー】

敷田主審

「ボール」

150km

ピッキー

「やつぱり速い…」

平沢憂

「はい！」

【ペシコー】

【バーンー】

敷田主審

「ストライク」

阪神政虎

「本当に女子高生かよ」

ピッキー

(まさか「トイツ」)

【ピシコー】

ピッキー

(ストレートしか無い?)

【カキンン!】

ジャストミート

打球はセンター方向に…

斎藤薫

「オーライ」

と思ひやせや

斎藤薫

「ああー!」

落球

ピッキー

「ウヨイー!」

アナウンス

「七番、キャッチャー、阪神虎之介」

阪神政虎

「コーチしてくるからどうしようかな？」

ピッキー

(阪神さん送りバント送りバント)

阪神政虎

(ヤダ)

ピッキー

(……)

阪神政虎はバットを短く持った。

ピッキー

(やつてみる)

【ペシュー】

【カキイー】

打球はセンター前へ

アナウンス

「八番、セカンド、ゴーリー

ゴーリー

「150は速あがむな……」

平沢憂

(ここで止めなきや……)

田井中律
(頼みますよ)

【ペジコー】

【バーンー】

敷田主審

「ストライク」

ユーリ

「はつや…」

平沢憂

「ふう…」

【ペジコー】

【ハン…】

田井中律

「セーフティー？」

ユーリ

「ハハハ」

しかし憂が

平沢憂

「カードー」

【バシー】

立花姫花

「はい」

小寺墨審

「アウト」

一死1、2墨

アナウンス

「九番、ライト、ジョー・ギブケン」

ジョー・ギブケン

(監督が一墨にいるんですけど)

【ピシュー】

ジョー・ギブケン

「つまーー」

【ガギイ…】

キヤッчиした平沢憂から中野梓にボールが渡り

二出川墨審

「アウト」

中野梓から琴吹紬にボールが渡る

村田墨審

「アウト」

阪神政虎

「最初から先発憂にしたら?」

山中さわ子

「3点差か...」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】8回裏（後書き）

【8回裏終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 0 0 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 1 0 — 9

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵・平沢憂・田井中律

【小説】

ikkii - 双樹楨 / セブンの独り言 - 阪神政虎

【小説ウイティングス対桜ヶ丘ティータイム】9回表

アナウンス

「小説ウイティングス、守備交代を行います。ファーストしらに代わりまして、上原大人、ウイティングスのファースト、上原大人」

しら

「頑張れ」

上原大人

「はい」

阪神政虎

「このまま勝つたらヒーローですよ」

しら

「そうか！」

アナウンス

「9回表、桜ヶ丘ティータイムの攻撃は、八番、センター、斎藤薫」

・ · · · ·

阪神政虎

「参ったな……」

現在、無死満塁

3点差の余裕から双樹樺さんは連打を浴びてしまった。

二番秋山澪はフレッシュナーに弱いからいとして問題は三番平沢憂である。

阪神政虎

「投手交代をしよう

双樹樺

「いるの？」

阪神政虎

「オレ」

双樹樺

「はあ？」

紀葉

「政虎さんですか？」

阪神政虎

「だつて人数少ないから」

上原大人

「まあ、仕方ないですよ」

ユーリ

「キャッチャーは誰ですか？」

阪神政虎

「経験者のピッキーさんで」

ピッキー

「？」

阪神政虎

「これでもキャッチャーをやるんで一五〇は出せますよ、一応……」

紀葉

「ならびにわ」

双樹樺

「と吉川ベンチに確か人が残っていましたよね？」

阪神政虎

「ああ、次の先発の桜井秀哉さん？」

双樹樺

「先発なの？」

阪神政虎

「だからちょっとお休み、一ノード崩したら困るし」

紀葉

「次の試合は3日後ですかね」

阪神政虎

「じゃそつゆう事で」

アナウンス

「小説ウイニングス、守備交代を行います。キャッチャーの阪神政虎がピッチャー、センターのピッキーがキャッチャー、ピッチャーの双樹樺がセンター、以上に代わります」

ピッキー

「ここに来てキャッチャーですか…」

阪神政虎

「本人（実際）は全然ダメだけどね150でやしない、良くて60の肩だし、現実はね」

ピッキー

「愚痴こくな、球種は？」

阪神政虎

「藤川と同じくカーブとフォーカーク」

ピッキー

「わかりました」

阪神政虎

「…………（作者の本名）だつたら終わってたね」

ピッキー

「止めなさい」

アナウンス

「二番、ライト、秋山澪」

秋山澪

「ヒィイ」

阪神政虎

（まだビビつてゐる）

ピッキー

（それじやび真ん中に）

【ピシュー！】

【バン！】

敷田主審

「ストライク」

i k k i

「フォームが数年前の藤川球児だ」

阪神政虎

（他にも…）

【ガバア！】

【ピシュー！】

敷田主審

「ストライクツウ！」

阪神政虎

(入団間もない頃の松坂大輔のフォームの真似もできます)

ただ単に作者がモデルにしてるから採用。だつて綺麗だもん!

ピッキー

(わお)

【ピシコー】

【バン!】

敷田主審

「スットライクバッターアウト!」

兀!

アナウンス

「三番、ピッチャー、平沢憂」

ピッキー

(「Jの試合の山場だ…」)

阪神政虎

(ピッキーさんどうします?)

ピッキー

(変化球で様子見ましょっ)

【ピシコー】

【バン!】

敷田主審

「ストライク」

ピッキー

(カーブだ、二球目はフォーカで)

【ピシュー!】

【カキイ】

小寺墨審

「ファール!」

大声援が聞こえる

「かせかせ憂!」【パー・パッ・パバー】「かせかせ憂!」

阪神政虎

「ふう…」

ピッキー

(トドメは直球!)

【ピシュー!】

【ガギイ!】

敷田主審

「ファールボール」

ピッキー

「どうだ、150は速いだろ?」

平沢憂

「そうですね」

阪神政虎

「ふう…」

ピッキー

(一球外せ)

阪神政虎

(はい)

【ピシュー】

【バン!】

敷田主審

「ボール」

O S B

風が穏やかになってきた。

阪神政虎

(大一番だな…)

ピッキー

(直球)

阪神政虎

(はい)

【ピシュー】

【カキン】

阪神政虎

「ゲツ…」

しかし

小寺墨審

「ファール」

阪神政虎

「ホ…」

ピッキー

(ラストはフォークで落としましょ(つ)

阪神政虎

(そうですね)

平沢憂

(次は変化球が来る!)

【ピシュー】

平沢憂

(フォーク…)

【バン!】

敷田主審

「…ボール」

ピッキー

「え?」

阪神政虎

「ストライクだな今のは、まあいいや」

ピッキー

(高めの直球)

阪神政虎

(待つてましたあ!)

平沢憂

【ピシュー】

(高め!)

【ブゥン!】

敷田主審

「ストライクバッターアウト!」

兀!

【ダダン!】「あと一人!」【ダダン!】「あと一人!」

ライトスタンンドから「あと一人」コールが始まった。

阪神政虎

「いつもなら俺は『きゅーじー』って叫ぶけど

ピッキー

(打たせろ、変化球)

阪神政虎

(はいよ)

【ピシュー!】

【カキンン!】

打ち上げた。

阪神政虎

「サード!」

紀葉さんがキヤツチ！

小寺墨齋

「アウトゲーメセッター。」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】9回表（後書き）

【試合終了】

桜ヶ丘 0 1 1 0 0 4 0 0 0 — 6

小説 4 0 3 0 0 1 1 0 X — 9

【桜ヶ丘】

平沢唯・曾我部恵・平沢憂／田井中律

【小説】

i k k i - 双樹楨 - 阪神政虎 / セブンの独り言 - 阪神政虎 - ピッキー

【勝利投手】

i k k i (1勝)

【セーブ投手】

阪神政虎 (1S)

【敗戦投手】

平沢唯 (1敗)

【桜ヶ丘本墨打】
斎藤薫?

【小説本墨打】

ウルトラマンゼロ?

紀葉
？

【小説ウイーネングス対桜ヶ丘ティータイム】試合終了後の後（前書き）

試合結果（短縮）

【学園都市】 2-5 【マコオ】

【インデックス】 0-9 【龜有】

【ポケモン】 3-1-9 【ジャイアンズ】

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】試合終了その後

アナウンサー

「放送席！放送席！ヒーローインタビューです！今日のヒーローはこの人！先制3ベースヒットを放ったしら選手です！」

しら

「ありがとうございます」

阪神政虎

「しらさんがヒーローだ」

・ k k i

「まあ次もとはいかないと思ひなびく

ピッキー

「とりあえずお疲れさまでした！」

ヒーローインタビュー終了後

阪神政虎

「次の対戦相手の『ジャイアンズ』ですが…」

ウルトラマンゼロ

「ですが？」

阪神政虎

「今日の試合、まだ8回裏で19-3です」

ピッキー

「ゲエ」

紀葉

「途中経過見たけど悲惨だつたよ」

しら

「ヤバいなあ」

阪神政虎

「それでは一応今のところの先発メンバーを発表致します」

?ユーリ(二)

?双樹楨(中)

?紀葉(二)

?ウルトラマンゼロ(遊)

?しら(一)

?ピッキー(左)

?セブンの独り言(捕)

?千歳涼介(右)

?桜井秀哉(投)

阪神政虎

「とりあえずのスタメンです」

ikki

「俺は?」

阪神政虎

「その次の試合の先発です」

i k k i

「わかりました」

阪神政虎

「それでは3日後、場所は西武ドームです」

ピッキー

「アウェイか」

反申教竟

「頑張りましょう！」

「才——！！」

【小説ウイニングス対桜ヶ丘ティータイム】試合終了その後（後書き）

次は西武球場での【ジャイアンズ対小説ウイニングス】です。

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】試合開始前（前書き）

グッドウェイルドームで試合です

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】試合開始前

阪神政虎

「西武ドームー。」

しら

「来ましたね」

阪神政虎

「ブルペンが丸見えだ！」

ピッキー

「リリースベンチ逆なんですね」

阪神政虎

「だから俺らは一塁側」

紀葉

「ジャイアンズ叩くぞー。」

しら

「…………」

紀葉

「どうしましたしらさん？」

しら

「いや……今打撃練習してるので……」

【カキンー】

ドラえもん

「ナイズバッティング！」

阪神政虎

「クロえもん……？」

しら

「そしてブルペンにいるのって……」

【バーンー】

ブルペンキャラッチャー

「ナイスボール！」

阪神政虎

「わざとひとりで……？」

i k k i

「何でアリベースのキャラがいるんだ？」

ピッキー

「おやかシロえもんとかいないだろ～な～」

阪神政虎はベンチから飛び出してドラえもんに聞いた。

阪神政虎

「おやかシロえもんまでいるのか？」

ドラえもん

「さすがにいませんよ」

阪神政虎

「それと秘密道具は使つなよ、一回でも使つたら退場だからな」

ドラえもん

「わかつてますよ」

阪神政虎

「それじゃ」

そして

紀葉

「打撃練習の時間だ！」

しら

「打つぞー！」

そして…

アナウンス

「両チームの監督はバックネットまで来てください」

阪神政虎

「それでは」

武田剛

わがへて行く

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】試合開始前（後書き）

何やつてんだオレ…

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】スタメン発表（前書き）

連続投稿！

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】スタメン発表

アナウンス

「お待たせしました、リーグ戦ジャイアンズ対小説ウイニングスの
スター・ティンギングメンバー及びアンパニアをお知らせ致します。まず
先攻の小説ウイニングス、一番、セカンド、コーリー」

【ダダン】「ユーリー」【ダダン】「ユーリー」【ダダン】「ユー
リー！」

アナウンス

「二番、センター、双樹樺」

【ダダン】「ふーたーきー」【ダダン】「ふーたーきー」【ダダン】
「ふーたーきー！」

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

【ダダン】「のーりーはー」【ダダン】「のーりーはー」【ダダン】
「のーりーはー！」

アナウンス

「四番、ショート、ウルトフマンゼロ」

【ダダンダン】「ゼロー」【ダダンダン】「ゼロー」【ダダンダン】
「ゼロー！」

アナウンス

「五番、ファースト、しり

【ダダン】「しーらー」【ダダン】「しーらー」【ダダン】「しー
らー」

アナウンス
「六番、レフト、ピッキー」

【ダダン】「ピッキー」【ダダン】「ピッキー」【ダダン】
「ピッキー」

アナウンス
「七番、キャッチャー、セブンの独り言」

【ダandan】「セブンー」【ダandan】「セブンー」【ダandan
ダン】「セブンー」

アナウンス

「八番、ライト、千歳涼介」

【ダandan】「ち、と、せー」【ダandan】「ち、と、せー」【ダandan
ダン】「ち、と、せー」

アナウンス

「九番、ピッチャー、桜井秀哉」

【ダandan】「さ、く、ら、いー」【ダandan】「さ、く、ら、いー」
【ダandan】「さ、く、ら、いー」

アナウンス

「続きまして、後攻のジャイアンズ、一番、シティー」

スネ夫

『骨川スネ夫です』

【バララ～】「それ、ス、ネ、夫」

アナウンス

「一番、ライト」

出木杉

『出木杉です』

【バララ～】「それ、出木杉」

アナウンス

「三番、サーブ」

クロえもん

『クロえもんです』

【バララ～】「それ、クロ」

アナウンス

「四番、キャッチャー」

剛田武

『剛田武です』

【パララ～】「それ、ジャイアン！」

アナウンス

「五番、ファースト」

源静香

『源静香です』

【パララ～】「それ、し、ず、か」

アナウンス

「六番、セカンド」

ノビスケ

『野比ノビスケです』

【パララ～】「それノビスケ！」

アナウンス

「七番、センター」

安雄

『安雄です』

【パララ～】「それ、や、す、おー！」

アナウンス

「八番、ライト」

はる夫

『はる夫です』

【パララ～】「それ、はる、夫」

アナウンス
「九番、ピッチャー」

さとし

『さとしだす』

【パララ～】「それ、さとし。」

i k k i

「すげえなあつちのスタメン発表」

阪神虎之介

「いきなり選手が出てきて自己紹介だもんな」

アナウンス

「主審小寺、墨審、一墨西本、二墨栄村、三墨石山、公式記録員は
藤原、試合開始まではしばらくお待ちください」

阪神虎之介

「全員、プロ野球の審判です」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】スタメン発表（後書き）

次回から試合開始

【ジャイアンズ対小説ウィングス】 1回表

アナウンス

「1回表、小説ウィングスの攻撃は一番、セカンド、ユーリ」

ユーリ

「こいやあ！」

さとし

（初球ストレート）

ジャイアン
(はいよ)

【ピシュー】

【バーンー】

ユーリ

小寺主審

「ストライク」

ゴテライク

ユーリ

「はえ…」

阪神政虎

「今の150出てたぞ…」

i k k i

「ゾーピングしてんだる…」

れとこ

(一三球目…)

【ペシコー】

【バーンー】

小寺主審

「ストライクシュー…」

【トライク

阪神政虎

「しかもキレイがある」

れとこ

(三球目…)

【ペシコー】

【バーンー】

小寺主審

「ストライクバッターアウト…」

「デライク

ユーリ

「……………」

双樹榎

「どんな球でしたか？」

ユーリ

「バット短く持つた方がいいです」

アナウンス

「二番、センター、双樹榎」

双樹榎

「バットを短くか…」

【ピシュー】

双樹榎

「おわ！」

【バーン！】

小寺主審

「ストライク

「デライク

双樹榎

(ホップしてゐる、厄介だ)

【ピシュー】

双樹榎

「つらあ！」

【ガギイ】

小寺主審

「ファールボール」

双樹榎

「いつた…」

紀葉

「うわ〜、重そう

双樹榎

「アイツ本当に小学生？」

【ピシュー】

双樹榎

「！フォーク…」

【バシイー】

小寺主審

「スットライクバッターアウト！」

「トライク

阪神政虎

「うわ...」

アナウンス

「三番、カード、紀葉」

紀葉

「打てる氣がしない...」

れど

「ありやう」と

【ペシコー】

【バーンー】

小寺主膳

「ストライク」

「トライク

紀葉

「（・・・）」

【ペシコー】

【バーンー】

小寺主審

「ストライクゾウ」

「ドライク

紀葉

「（・・・）」

阪神政虎

「なんかヤバいなあ……」

紀葉

「バット短く持つか

【ペシュー】

【カキイ】

三塁後方へ

石山墨審

「ファールボール」

紀葉

「当てた……」

【ピシュー】

紀葉

「ゲエ！フォーク」

【ブウン！】

小寺主審

「スットライクバッターアウト！」

ゴーデライク

阪神政虎

「ヤバいな… 3二振…」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】1回裏

桜井秀哉

「よろしくお願いします」

セブンの独り言

「変化球がかなりあるから、それ主体に行くぞ」

桜井秀哉

「はい」

阪神政虎

「ジャイアンズって速球にはかなり強いから気をつけて」

ピッキー

「嫌なチームだな」

アナウンス

「1回裏、ジャイアンズの攻撃は、一番、ショート、スネ夫」

スネ夫

「さて、先頭打者ホームランでも」

セブンの独り言

（内角のスライダー）

桜井秀哉

（はい）

【ピシュー】

スネ夫
「わあー！」

【バーンー】

スネ夫
「マ～マ」

ドラえもん
「」の前のチームと違い、要注意選手が何人もいるぞ」

剛田武

「そうだな」

【ピシュー】

スネ夫
(フォーケー)

【カキイ】

紀葉
「それ」

一墨送球

【バシー！】

西本墨審

「アウト」

しら

「お疲れ」

アナウンス

「一番、ライト、出木杉」

出木杉

「ハハハ」

セブンの独り言

(今のムカついた、内角にストレート)

桜井秀哉

(はい)

【ピシュー】

【バーンー】

155km

出木杉

「.....」

セブンの独り言

「ナメんな」

出木杉

(短く持とう…)

【ペシコー】

【ガギイン】

小寺主審

「ファールボール」

セブンの独り言
(決め球はコレ)

桜井秀哉

(はい)

【ペシコ】

【ゴラー】

出木杉

(ナックル!?)

【ブウン!】

小寺主審

「スットライクバッターアウト!」

ゴーティライク

ドラえもん

「アイツ色んな変化球があるんだな」

セブンの独り言

(さて…)

アナウンス

「三番、カード、クロえもん」

セブンの独り言

(「マイツだよ」)

桜井秀哉

(クロえもん…)

クロえもん

「…」

セブンの独り言

(初球様子を見ぬか…)

桜井秀哉

(はい)

【ピシュー】

【バーン】

小寺主審
「ボール」

セブンの独り言

(次はストライクからボールになるフォーク)

【ピシュー】

【カキイー】

桜井秀哉

「いつた？」

セブンの独り言

「大丈夫、ボールだからスタンンドまではいかない！」

しかしボールはドンドンレフトへ

セブンの独り言

「嘘だろ…」

【バシ】

ピッキー

「間に合ったー！」

石山豊審

「アウト」

「ワアアアアアーー！」

ライトスタンンドから声援が聞こえる。（西武ライオンズはホームと

アウホイのベンチを逆戻してゐるでそれを真似した)

【ダダンー】「ピッキー」【ダダンー】「ピッキー」【ダダン
ー】「ピッキー」

セブンの独り言

「しかし、あれであれここまで行くなら次考えておかないと」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 1回裏（後書き）

【1回裏終了】

小説 0 — 0

ジャイ 0 — 0

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】2回表

阪神政虎

「初回3三振だから次は3本塁打をお願いします」

ピッキー

「無理」

アナウンス

「2回表、小説ウイニングスの攻撃は四番、ショート、ウルトラマンゼロ
ンゼロ」

ウルトラマンゼロ

「デュワ！」

剛田武

（主砲ですから注意を払つて）

さとし

（いえ、大丈夫です）

【ピシューー】

ウルトラマンゼロ

「デュワー！」

【ガギイ】

打球はクロえもんの所へ

クロえもん
「おひよつと」

【バシイー】

西本墨審

「アウト」

アナウンス

「五番、ファースト、しら

「じりわあんー。」

「頼むぞーー。」

前試合からじりわあんの所にはファンが殺到している。

ファンレターも貰っている。

一部は

「マリーンズに入つてください」とかだけど…

しら

「バットを短く持といつ」

剛田武

(それでは)

あとじ

(はい)

しら

(まではタイミング合わせのスイングだ)

【ピシ】

【カキン】

しら

「え？」

剛田武

「あ？」

セトシ

「え…？」

高めのちょっととしたボール球にフルスイングした打球はジャストミート、そして…

はる夫

「マジかよ…」

スタンディング

「ワアアアアアア…！」

しら

「オッシャアアア…！」

阪神政虎

「マジかあ！」

紀葉

「すげー」

ピッキー

「タイミングが合つたのと、さとしが緩いボール、所謂失投したからか」

20

「ラジカル...」

ピッキー

ホームページにしたかったら、ちゃんとページキーさんとハイタッチ

阪神政虎

「勢いが出てきた」

ikk*i*

「クロえもんを抑えたのが効きましたね」

アナウンス
「六番、レフト、ピッキー」

ピッキー

さとし
(くつそおー)

【ピジュー】

【力キン】

さとし

「…」

スネ夫

「ゴハア！」

鋭い打球がスネ夫の腹を直撃。

結果はヒット

クロえもん

「スネ夫、大丈夫か？」

スネ夫

「はい」

アナウンス

「七番、キャッチャー、セブンの独り言」

阪神政虎

「連打は怖いよ…」

作者は連打の怖さをつづく感じた事がある。

2011年8月14日のヤクルト対阪神戦

9回表終了1-8で阪神がリードしていたのに…

9回裏のヤクルトが6点を取りギリギリ7-8で勝った試合。

怖かった。

セブンの独り言
「連打で行こう」

しかし…

【ブウンー】

小寺主審

「ストライクバッターアウトー！」

ゴーティーイク

セブンの独り言

「はあ…」

続く八番千歳涼介さんも倒れ、この回1点止まり

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】2回表（後書き）

【2回表終了】

小説 01 — 1

ジャイ 0 — 0

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武

【小説本墨打】

しらー号？

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】2回裏（前書き）

【告知】

前半戦終了後、「作者×Sアニメオールスター」を開催します。

「アニメオールスターチーム」はファン投票で決めさせて頂きます。

別の短編という形で投票所を設けますのでよろしくお願ひします。

それと、この試合終了後、新入団選手発表が行われ、各チームに助っ人と新入団選手が発表されます。

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】2回裏

三塁ブルペンでひるしがピッチング練習を行つ。

【バシイー】

「ラえもん
「ナイズボール」

アナウンス

「2回裏、ジャイアンズの攻撃は、四番、キャッチャー、

剛田武

剛田武
「すぐ取り返す！」

桜井秀哉

「ふん」

【ピシュー】

剛田武

「ファンガアー！」

【カキン】

紀葉

「わー！」

【バシイー】

石山墨審

「アウト…」

剛田武

「畜生」

アナウンス

「五番、ファースト、源静香」

源静香

「打つたるわいボケエ！」

セブンの独り言

「口悪！」

【ピシュー】

【カキン！】

セブンの独り言

「それでかあ…」

バックスクリーン直撃弾

桜井秀哉

「ぐ…」

セブンの独り言

「同点かあ…」

源静香がホームイン！

セブンの独り言

「打力が凄いなあ…」

アナウンス

「六番、セカンド、ノビスケ」

ノビスケ

「続こう」

【ピシュー】

ノビスケ

「のあ！」

【ガギイ】

桜井秀哉

「オーライ」

【パシ】

小寺主審

「アウト」

続く安雄も凡退した。

安雄

「省略された——！」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】2回裏（後書き）

【2回裏終了】

小説 01 — 1

ジャイ 01 — 1

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武

【小説本墨打】

しらー号？

【ジャイアンズ本墨打】

源静香3号？

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 3回表（前書き）

～記者席～

記者？

「どうへ？ 試合は？」

記者？

「1-1の回数です」

記者？

「やつぱり」の前みたいには行かないか～」

【ジャイアンズ対小説ウィングス】3回表

アナウンス

「3回表、小説ウィングスの攻撃は、九番、ピッチャー、
桜井秀哉」

桜井秀哉

「さとしつて誰だよ、ドラベースの投手はひろしだろ」

剛田武

「素で作者が間違えたのを隠蔽したんですよ」

桜井秀哉

「なるほど」

【ピシュー】

【バーンー】

小寺主審

「ストライク」

【トライク

桜井秀哉

「はええ…」

【ピシュー】

【カキイ】

ボールは二點スタンンドへ

アナウンス

「ファールボールには充分お気をつけください」

桜井秀哉

「ふう…」

剛田武

(一球ボールで)

【ピシコ】

【バーン】

小寺主審

「ボール」

剛田武

(では決めますか)

【ピシコー】

桜井秀哉

「フォーカー！」

【ブウン】

小寺主審

「スットライクバッターアウト！」

【テライク

アナウンス

「一番、セカンド、ユーリ」

ユーリ

「2打席連続は避けたい…」

【ピシュー】

ユーリ

「く…」

【カキイ】

ユーリ

「畜生！」

打球はクロえもんの所へ行き送球

西本墨審

「アウト」

アナウンス

「一番、センター、双樹樁」

双樹樁

「バットは短く」

セトフ

(心はテカぐ)

【ピシゴ】

【カキイン】

【パシ】

【エニ】

西本墨審

「アウト」

シニアードンロ

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】3回裏

アナウンス

「3回裏、ジャイアンズの攻撃は、八番、レフト、はる夫」

はる夫

「（怒）（怒）（怒）（怒）」

スタメン発表で守備位置間違えられた事にキレてるはる夫くん

【ピシコ】

はる夫

「オラア！」

【カキン】

【バシイ！】

紀葉

「捕つたど～」

石山墨審

「アウトー！」

アナウンス

「九番、ピッチャー、さとし」

さとし

「ひろしの親戚です」「

i k k i

「急な設定だな」

セブンの独り言

(初球チエンジアップで)

桜井秀哉

(初球に?)

【ピシュー】

【フワ】

セトシ

(チーンジアップー)

【パシ】

小寺主審

「ストライク」

【トライク

セトシ

「初球緩い球で来たか」

セブンの独り言
「悪いが」

セブンの独り言

(次は速球)

「別に」

セドリ

桜井秀哉

(はい)

【ペジコ】

セトシ

(緩い球の後に速球が来るのは分かってんだよー。)

【カキンー】

桜井秀哉

「なこー！」

さとしが高たとバットを上げてゆっくりと走り出した。

ペジコ

「あ～あ…

「ワアアアーー！」

阪神政虎

「チツ」

ホームラン

小説 1 - 2 ジャイ

アナウンス

「一番、ショート、スネ夫」

スネ夫

「こ」の辺で僕も」

【力キン】

スネ夫

「ホームラン！」

【パシ】

栄村墨審

「アウト」

セカンドフライ

アナウンス

「二番、ライト、出木杉」

出木杉

「天才出木杉のおでましだ！」

セブンの独り言

（自分の事を『天才』っていうのは引くわ…）

【ペシムー】

出木杉

「それ！」

【カキン】

【バシイー】

小寺主審

「アウト」

ピッチャーライナーに抑えた。

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 3回裏（後書き）

【3回裏終了】

小説 010 — 1

ジャイ 011 — 2

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 4回表（前書き）

プロ野球のある応援団が登場！

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 4回表

～ライトスタンド～

応援団（CD）

「あのすこません」

応援団（TH）

「何ですか？」

応援団（CD）

「阪神の応援団ですよね？」

応援団（TH）

「昔な」

応援団（CD）

「昔？」

応援団（TH）

「そり、中虎連合なんだ」

応援団（CD）

「中虎連合？」

応援団（TH）

「2004年までな」

応援団（CD）

「2004年までな」

「へえ～」

応援団（TH）

「で、一時的に復活したわけだ」

応援団（CD）

「そりなんですか」

応援団（TH）

「まあよろしく」

応援団（あ、はい）

今日は諸事情により福岡ソフトバンクホークスの応援団が来ていない。

応援団（TH）

「それ！」

「絶対勝つぞ！ ウィーテングス！ 絶対勝つぞ！ ウィーテングス！ 絶対勝つぞ！ ウィーテングス！」

紀葉

「わあ何だ！」

しら

「凄い応援旗の数」

阪神政虎

「中虎だあ～（泣）」

ピッキー

「中トリッ?」

阪神政虎

「アラックじゃないから、昔の阪神の「応援団」

ピッキー

「ああ」

阪神政虎

「凄かつたなあ～」

ピッキー

「確かに凄そう」

アナウンス

「4回表、小説ウイーテングスの攻撃は、二番、サーブ、紀葉」

「「かっせー!かっせー!かっせー!紀葉!—かっせー!かっせー!かっせー!紀葉!—」」

紀葉

「凄い声援だなあ」

応援団(一)(二)

「今回のみ紀葉さんの応援歌は岡田の曲になつますー。『今日もー』」

「おおーー。」

岡田彰布（オリックス監督）の応援歌は同じみの「コンバットマチ」を使ったものである。

「紀葉～、紀葉～、紀葉！紀葉～、紀葉～、紀葉！ホームラン！ホームラン！場外！場外！ホームラン！かつ飛ばせ！紀葉！」

阪神政虎

「やつぱり阪神ついたらこれだろ（笑）」

紀葉

（集中！集中！）

さとし

（つるさいなあ…）

「ホームラン！ホームラン！場外！場外！ホームラン！

鳴り止まない

【ピシュー】

【カキン！】

さとし

「あーしまった！」

三塁線を突き抜けるヒット

ウルトラマンゼロ

「デュワー！」

アナウンス
「四番、シート、ウルトラマンゼロ
「ロゼンマーティン」

れど

「氣合い入れ直すー」

ウルトラマンゼロ
ロゼンマーティン

「やつてみる」

【ペジコー】

156回

ウルトラマンゼロ
ロゼンマーティン

「本当に小学生か?」

剛田武

(低めに直球)

【ペジコー】

ウルトラマンゼロ
ロゼンマーティン

「うるわー」

【カキンー】

れど

「シートーーー」

スネ夫

「ギヤ！」

打球を捌こうとしたスネ夫は処理を誤り、外野に

無死1、2塁

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

しら

「やつたる！」

剛田武

（チャンスに強いからなあ～）

さとし

（嫌なバッターだ）

さとしは前打席のホームランが横切った。

【ピシュー】

しら

（ボール！）

【バシイー】

小寺主審

「ボール」

しら

(よし)

【ピシュー】

【カキンン】

阪神政虎

「よつしゃあ！」

打球はライトの方向へ

ドラえもん
「マジ?」

ライトの出木杉がフェンスにへばりつく

打球とフェンスを確認して…

【ガシイ!】

しら

「え?」

【バシイ!】

しら
「うそ!」

ファンスによじ登つた出木杉がボールをキャッチ。

西本墨審

「アウト！」

紀葉

「ゴー！」

「もしや…」と思った紀葉さんは一塁まで戻った後、キャッチしたのを確認してタッチアップ！

出木杉

「ファースト！」

しかし狙われたのは一塁だった。

ウルトラマンゼロ

「デュワ！？」

慌てて一塁付近から一塁に戻るウルトラマンゼロ

【バシィー！】

源静香

「タッチ！」

西本墨審

「アウト！」

—死—墨

アナウンス

「六番、レフト、ピッキー」

ピッキー

「二三塁ランナーは絶対返す」

あとし

「はあ～」

中虎連合会指揮のもと、チャンステーマが行われる。

だけど中虎連合のチャンスは先程結果さんとの時と同じ、「コンバットマーチ」である。

ピッキー

(剛田の配球を見ると速球中心で組み立てている)

剛田武

(さといし、ストレート)

【ピッシュ】

【バシィー】

小寺主審

「ストライク」

「ストライク

ピッキー

(やつぱり俺に対しても速球か?)

剛田武

(次はフオーラク)

さとし

(さこ)

【ピシコー】

ピッキー

(とつあえず見送る)

【バシィー】

小寺主審

「ボール」

ピッキー

(これは見せ球か?)

剛田武

(ストレート)

さとし

(さこ)

【ピシコー】

ピッキー

(ー)

【バシイー】

小寺主審

「ストライクシウ」

ピッキー

(やつぱつ見せ球か?)

剛田武

(最後はこれで決めるか?)

ヤツコ

(ヤニ)

【ピシゴ】

ピッキー

(緩じストレート...ナメるなー)

ピッキー わざはストレートだと思つて振りにいくが

【ハロ...】

ピッキー

(しまつたー)

【ブウンー】

小寺主審

「ストライクバッターアウト！」

「ドライブ

ピッキー

「チョンジアップだと…」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 4回表（後書き）

【4回表終了】

小説 0 1 0 0 — 1

ジャイ 0 1 1 — 2

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武

【小説本墨打】

しらー号?

【ジャイアンズ本墨打】

源静香3号?

れとしー号?

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 4回裏

～ネクストバッターズサークル～

【「コン、コン】

クロえもん
「ふう…」

アナウンス

「4回裏、ジャイアンズの攻撃は、3番、サード、クロえもん」

桜井秀哉

「うわあ…」

セブンの独り言

（こここつせじひじょい…）

桜井秀哉

（どうじょううもない）

セブンの独り言
(低めにフォーカク)

【ピシューー】

クロえもん
「捕らえたあ！」

【カキンー】

桜井秀哉

(ゲー)

打球はライナーでセンター双樹樁のグラブへ

栄村墨審

「アウト！」

アナウンス

「四番、キャッチャー、剛田武」

セブンの独り言

(力で押し切るバッターは緩いボールで)

桜井秀哉

(はい)

【ピシュー】

剛田武

(ぬおおー・)

【ガギイー】

打球は頭上高く上がった。

セブンの独り言

「一九二二年」

【バ
シイ
！】

小册子編

「アウト！」

アナウンス

「五番、ファースト、源静香」

セブンの独り言 (嫌なバッターが続く…)

阪神政虎

破壊力満点たな隨分と

セブンの独り言

(…………… が あ～)

桜井秀哉

(高めにフォーク)

セブンの独り言
(それでいく?)

桜井秀哉
(はい)

[パシナ]

源静香

「高めは私の絶好球」

【カキイ！】

源静香

「ああ畜生フォークだコンニヤロー！」

セブンの独り言

「ホント、口悪」

ピッチャーゴロ

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 4回裏（後書き）

【4回裏終了】

小説 0 1 0 0 — 1

ジャイ 0 1 1 0 — 2

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】5回表

アナウンス

「5回表、小説ウイニングスの攻撃は、七番、キャッチャー、セブンの独り言」

セブンの独り言

（150の速球にフォーカク、そしてさつき見せたチエンジアップ、厄介な相手だ）

剛田武

（初球は外角にストレート）

【ピシューー】

【バーンー】

小寺主審

「ストライク」

「デライク

セブンの独り言

「え？ 入っているの？」

小寺主審

「そうだ」

セブンの独り言

「へえ～、あれが…」

小寺主審
「ぐ…」

セブンの独り言

(まあ今は正直、どうだつてこいけどね)

剛田武

(わいわとぼぼ回じむる)

わとこ

(わかつた)

【ペシムー】

【バーンー】

小寺主審

「ボール」

剛田武

「…-.-」

セブンの独り言

(しめた)

阪神政虎

(よくやつた)

何やつたと言えば、やつその判定でセブンの独り言さんは「え?入

つているの？」「といぢや もんを付けた時、審判に「え？自分が間違つているの？」と思わせた。

例え野球が他のスポーツよりも審判が神格化されたスポーツとは言え、審判も人である。

剛田武

（さつきのでストライクゾーンが狭まつたし…、コイツマジないわ）
心の中で言つていろから良いけど、間違つて言つもんなら退場モン
の発言である。（審判に「バカ」つて言つたら退場です）

れとし

（じゅあ、少し真ん中に投げます）

【ピシュー】

セブンの独り言

（ ）

【カキン！】

打球はセンター前に

阪神政虎

（今日は慎重に生かせて貰います）

阪神政虎は千歳涼介さんにサインを送る

千歳涼介

(流せ? ハンデラン?)

ピッキー

(それビジが慎重だよ)

剛田武

(恩りいく点を獲るために送りバントをしてくるはずだ、高めに持つて来い)

れとし

(はい)

【ピッシュ】

千歳涼介

(それ!)

【カキン】

剛田武

「あ?」

れとし

「ハンデラン? 」

「送りバント」と予測した内野陣、源静香と野比ノビスケの間を抜ける

源静香

「こん畜生があー! 」

阪神政虎

「うわ～、うえ～」

一墨ランナーは三塁へ

アナウンス

「9番、ピッチャー、桜井秀哉」

桜井秀哉

（スクイズ？）

阪神政虎

（それはあむらさんも読んでる）

現に三塁クロえもんが前進している状況だ。

阪神政虎

（桜井さん…）

阪神政虎があるサインを出す。

桜井秀哉

（あ、それですか…）

剛田武

（絶対スクイズしてくる）

そう思つた矢先

【ペジコー】

【ダッ】

剛田武

「……？」

一塁ランナー千歳涼介さんが盗塁

内野陣が前進守備しているため、投げても間に合わない。

無死2、3塁である。

もし、こいつが八番打者でこの状況だったら敬遠だつたけど、今ネ
クストバッターズサークルにいるのはユーリさんである。

剛田武

あとじ

(どうします?)

剛田武

(アレ)(阪神政虎)だつたら強行作戦も有り得る、だつたら

サインを出す。

あとじ

(なる程…、よしー)

【ペシコー】

桜井秀哉

(ヒットン・ショウザイ)

打ちにいくが

桜井秀哉

(内角！？ クッソ…)

【バン！】

小寺主審

「ストライク」

「ストライク

セブンの独り言

「ゲヨ！」

既にセブンの独り言とは本懲聞近、千歳涼介さんに關しては三懲
にこる。

急いでセブンの独り言さんは戻るが

セブンの独り言

「アレ？」

三懲には千歳涼介さんがない。

千歳涼介

「？？」

どうすればいいのか分からぬ状況だ。

セブンの独り言

「？？」

三塁に2人がいる状況だ。

阪神政虎

「千歳さん戻れ！！」

咄嗟に阪神政虎が叫ぶが

剛田武

「タッチ！」

石山墨審

「アウト」

千歳涼介

「え？」

セブンの独り言

「は？」

何が何だが分からず、つい三塁から足を離した瞬間。

剛田武

「タッチ！」

石山墨審

「アウト！」

セブンの独り言

「え？ どうじと？」

石山墨審

「2人ともアウトだよ」

セブンの独り言

「そうなの？」

何が何だが分からず2人はベンチに戻る。

セブンの独り言

「え？ どうじと？」

阪神政虎

「まあアレはドンマイ！」

説明すると

- ・ランナーが2、3塁で打者が打った時、守備で挟まれた3塁ランナーが3塁に戻つたとします。

- ・しかし2塁ランナーが3塁にいたとします。

- ・この場合、先に3塁ベースを占有していた者（この場合だとセブ

ンの独り言さん)が優先となり、2塁ランナーはフライと同様、2

塁に戻らないとアウト。(だから「千歳さん戻れ！！」と)

2

・だからさつきは「アウトですんだが、セブンの独り言さんが誤つてベースから離れてしまった場合、それは盗塁の時と同じになるからタッチすればアウト。」

・ルール間違つてたら「メン。ぶつちやけ本当かは自信ない。」

阪神政虎

「プロでもよくある

ピッキー

「まあ野球みたいに『チャ』『チャ』しているスポーツは無いわな」

実際、野球のルールは覚えるのが大変だ。

この小説では、分かる所なら書くつもりだ。

桜井秀哉

「うわ～、無死2、3塁から一死ランナー無しですか？」

剛田武

(へへへ…)

これによつて氣を楽にしたもん

小寺主審

「スツトライクバッターアウト！」

桜井秀哉さんを二振にさるのであった。

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 5回表（後書き）

【5回表終了】

小説	0	1	0	0	—	1
ジャイ	0	1	1	0	—	2

【ジャイアンズ対小説ウィングス】5回裏

アナウンス

「5回裏、ジャイアンズの攻撃は、六番、セカンド、ノビスケ」

阪神政虎

「ノビスケってさ」

i k k i

「え？」

阪神政虎

「のび太の息子？」

i k k i

「じゃない？」

阪神政虎

「で、のび太どこ？」

i k k i

「さあ」

ノビスケ

（俺もこの時代生まれてないんだよなあ～）

セブンの独り言

（内角にボールからストライクになるカーブ）

桜井秀哉
(はいさと)

【ペシコー】

ノビスケ

「ウー」

小寺主審

「ストライク」

「トライク

桜井秀哉さんはナックルボールである。

なので、独特的のテンポで投げる。

【ペシコー】

【ふわフ】

ノビスケ

（ナックルだー）

【パシ】

「トライク

小寺主審

「ストライクツウ」

「トライク

ノビスケ

(最後はカーブか…、それともナックルか…)

【ピシュー】

ノビスケ

「…？」

【バーン!】

小寺主審

「スットライクバッターアウト！」

「テライク

ノビスケ

「ストレートかよ」

アナウンス

「七番、センター、安雄」

安雄

「やつと出番だぜ！」

【ピシュー】

安雄

「へーイ！」

【カキンンー】

【パシ】

【エゴー】

【バシイー】

西本墨審

「アウトー」

安雄

「.....」

アナウンス

「八番、レフト、はる夫」

キャッチャーフライ

はる夫

「脇役だからって出番消すなあーー！」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】5回裏（後書き）

【5回裏終了】

小説 010 00 — 1

ジャイ 011 00 — 2

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

さとし／剛田武

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】6回表

アナウンス

「6回表、小説ウイニングスの攻撃は、一番、セカンド、コーリー」

コーリー

「何かこの試合嫌な流れだなあ」

れとし

「はあ～」

剛田武

「初球はストレート」

れとし

(はい)

【ピシュー】

【パン】

れとし

「一、」

剛田武

「サー、アーヴィング」

クロエもん

「わかつてらい。」

【アーティスト】

クロえもんは素手でボールを掴むと一墨送球

【バシ】

西本墨審

「セーフ」

セーフティーバントで出墨。

阪神政虎

「足早」

アナウンス

「一番、センター、双樹樁」

双樹樁

「続くぞ！」

あとじ

（走りそうで怖い）

【ピシコ】

【カキンンー】

「あつ」

あとじ

盗塁を恐れたボールを捕らえ、センター前ヒット

アナウンス

「三番、サークル、紀葉」

紀葉

「本塁打で逆転だ！」

剛田武がマウンドに向かへ。

剛田武

「逆に盗塁の心配が無くていい」

れど

「ですね」

紀葉

「ふう～」

紀葉さんは気持ちを落ち着かせる。

剛田武

（初球は「ノーノード」）

れど

（せこ）

【ページ一】

【ガギイー】

打球は一塁スタンンドへ

アナウンス

「打球の行方は十分お気をつけください」

紀葉

(重い…)

剛田武

(「）一番のボールだ、それをもう一球）

【ペシコー】

【ガギイー】

さとし

(またファールか)

紀葉

「ふう～」

剛田武

(速球にタイミングが合つてゐるから、チョンジアップお願いします)

さとし

(はい)

しかし

【ペシコー】

剛田武

「ああー。」

ボールは遙か離れて左バッターの所へ

勿論剛田武が捕れる訳も無く

打者はそれぞれ進塁

剛田武

「落ち着け！」

あとじ

(ヤバい…)

動搖したあとには紀葉さんにボールを当ててしまつ。

紀葉

「こつたー！」

小寺主審

「デットボール！」

紀葉

「ヒイー！」

れとし

「すこせさん」

帽子を下げて謝るやとし。

紀葉

「大丈夫です」

それに応える紀葉さん

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマングゼロ」

「ウアアアアアアアアアアア！」

スタンンドの熱氣が高まる。

内野陣が集まり、剛田武だけ審判の所へ行き

剛田武

「ピッチャー交代、さとしに変わって俺、キャッチャーはドラえもん」

アナウンス

「ジャイアンズ、ピッチャー交代をお知らせ致します。キャッチャーの剛田武がピッチャー、ピッチャーのさとしに代わりましてキャッチャードラえもん」

ドラえもん

「今日はボクドーラえもんです」

剛田武

「挨拶はいじよ、知つてゐるし」

ドラえもん

「3人で終わらすぞ」

剛田武

「OK」

クロえもん

「1人でトリプルプレーって考えは無いのか」

阪神政虎

「動いてきた」

ikk.i

「じつあぢうします?..」

阪神政虎

「ゼロさんに任せかねるしかない……」

ウルトラマンゼロ

「テコワ」

剛田武

(行くぞ)

ドラえもん
(あこよ)

【ピシュー！】

【ガギイ！】

ピッキー

「いつた！」

源静香

「当てただけだ！」

打球はライトへ

阪神政虎

「ランナータッチアップ！」

ユーリ

「分かつてる」

【バシイ】

出木杉

「バックホーム！」

出木杉がホームに送球！

ドラえもん

「ノーカット！」

同時にユーリさんが突入！

【バシイ！】

ドラえもんが捕球するー。

ピッキー

「回れー！」

回り込むゴーリさん！

飛びついてドラえもん！

【ズザザザザザザ…】

小寺主審

「アウトー！」

回り込み失敗で、回り込もうとした瞬間にタッチアウトされた。

しかしランナーはそれぞれ進塁。

しら

「やつたるか」

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

剛田武

(ふう)

そして…

【バシイ！】

小寺主審

「ボールフォア！ フォアボール！」

剛田武

「畜生…」

一死満塁

ピッキー

「来たか…」

アナウンス

「六番、レフト、ピッキー」

阪神政虎

「さすが魔の6回、そして任せましたー！」

ピッキー

「食ひにいついて同点にじてやる

外野陣は長打を警戒している。

チャンステーマが鳴り止まない。

「打て！！ 打て！！ 打て！！ 打て！！ 打つてえ～ 打てえ～ 打ちまく

れ！！」「

ドラえもん

「ジャイアン！山場だぞ！」

剛田武

「わかつてあ！」

阪神政虎はバットを持ってネクストバッターズサークルへ

セブンの独り言

「交代ですか」

阪神政虎

「一応ね」

ピッキー

（決めてやる…）

剛田武第1球目

【ピッシュー】

ピッキー

（スライダー）

【カキイ】

西本墨審

「ファール」

「オオオ…」

どちらのスタンダからも溜め息と安堵の声が聞こえる。

剛田武

(一球四)

【ピシコー】

ピッキー

(ボール…)

小寺主審
「ボール」

O S B

緊迫した空氣になる。

ドリームン
(ジャイアン、これ)

剛田武

(わかつた)

【ピシコー】

ピッキー

(ストレート)

【ガギイ！】

打球は二塁線を…

石山豊

「ファール」

ドラえもん

(ヤバい…)

剛田武

(わあがピッキーさん)

ピッキー

(大変だよ)

ドラえもん

(これで2ストライク)

剛田武

(キメる…)

ドラえもん

(これでなあ)

剛田武

(わかつた)

【ピシュー】

ピッキー

(しまつた!)

ボールは緩いカーブだが

【カキイ】

剛田武

「なに!?

打球はフラフラと一塁を

源静香

「ギリギリだあ!」

ランナーは全員ホームへ

【ダン】

打球が着地…

判定は…

西本墨審

「フェア」

ピッキー

「よつしやああー。」

次々にランナーが帰っていく。

ピッキーさんは一塁へ

阪神政虎

「オレの出番が無くなつた」

走者一掃の逆転タイムリー2ベース

小説 4-2 ジャイ

剛田武

「く…」

源静香

「ピッキーさんが上手だったよ、武さんくよくよしないで」

剛田武

「抑えきれなかつた…」

ドラえもんが審判に投手交代を告げる。

ドラえもん
「ジャイアンに代わり、ひるじ」

アナウンス

「ジャイアンズ、ピッチャーの交代を致します、剛田武に代わりま

してひれこ

ひろし

「やつと登板だ」

ドラえもん
「抑えるぞ」

阪神政虎

「じゃセブンさんお願ひします」

セブンの独り言

「はい」

もしもフォアボールとかで同点にしか出来なかつた場合に備え、準備していた阪神政虎だったが、逆転したためお役ゴメンとなつた。

セブンの独り言

「逆転の後は気が楽」

サードゴロに倒れた。

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】6回表（後書き）

【6回表終了】

小説 010 003 — 4

ジャイ 011 00 — 2

【小説】

桜井秀哉／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

セトシ・剛田武・ひろひ／剛田武・デラえもん

【ジャイアンズ対小説ウィングス】6回裏

【ダダン】 「ピッキー」 【ダダン】 「ピッキー」 【ダダン】
-】 「ピッキー！」

逆転タイムリー2ベースを放ったピッキーさんに殊勲のホールが聞
こえる。

ピッキー
「ビックモー！」

阪神政虎

「何かわ…、このまま勝てそうじやない？あちら側をよく見たらま
だ2安打じやん」

ikk i

「そういえば」

桜井秀哉

「1点ビハインドから2点リードか」

セブンの独り言

「完投やつましょー！」

桜井秀哉

「そうですね」

アナウンス

「6回裏、ジャイアンズの攻撃は、9番、キャッチャー、ドラえも

「ん

【カキン！】

桜井秀哉

「え？」

セブンの独り言

「うわあ
…」

再びバックスクリーン直撃

「ウワア アアア！」

セブンの独り言

「何だよコイツら」

小説 4—3 ジャイ

せらに

【2】

【右安】

【左安】

一死1、2墨

アナウンス

「三番、カード、クロエもん」

マウンド上にみんな集まる。

ベンチでは

阪神政虎

「双樹樺さんかな？」

ikk.i

「オレでもいいですよ」

阪神政虎

「ikk.さんは次の試合の先発ですか？」

ikk.i

「もうですけど」

阪神政虎

「よし！」

阪神政虎さんはベンチを出ると

阪神政虎

「ピッチャーの桜井秀哉さんに代わり、双樹樺さんで空いたセンターライトの千歳涼介さんが入ってライトにジョー・ギブケンさん」

小寺主審

「わかりました」

桜井秀哉

「降板だ」

セブンの独り言

「ピッチャーさんか、監督か、双樹樺さんか」

アナウンス

「小説ウイニングス、守備交代をお知らせします、ピッチャー 桜井秀哉に代わりまして双樹樺、ライトの千歳涼介がセンターにライトにはジョー・ギブケンが入ります」

剛田武

「変ってきた」

双樹樺

「それでは今日も」

セブンの独り言

「はい」

小寺主審

「プレイ！」

セブンの独り言

(勿論)

双樹樺

(はい)

投球と同時に立ち上がるセブンの独り言をん

敬遠である。

「ブー！ブー！」

レフトスタンドからブーイングの嵐だ。

小寺主審

「ボールフォア！フォアボール！」

双樹樺

「だつて次は」

アナウンス

「四番、ピッチャー、ひろし」

双樹樺

「だもん」

完全にナメきつた双樹樺さんはひろしを

【ガコ】

双樹樺

「オーライ」

ピッチャーから

【バス】

ウルトラマンゼロ

「ヘーイ」

栄村墨審

「アウト」

一塁に入ったショートに投げて

ウルトラマンゼロ

「デュワ！」

ショートから

【パシ】

しき

「ヘーイ！」

西本墨審

「アウト！」

一一六一三のダブルプレー！

ひろし

「くつそ～」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】6回裏（後書き）

【6回裏終了】

小説 010 003 — 4

ジャイ 011 001 — 3

【小説】

桜井秀哉・双樹楓／セブンの独り言

【ジャイアンズ】

セトシ・剛田武・ひろじ／剛田武・デラえもん

【小説本墨打】

しら1号？

【ジャイアンズ本墨打】

源静香3号？

さとし1号？

デラえもん1号？

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】ほっとひと息（前書き）

試合ではあります。

応援団について軽く…

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】ほっとひと息

- ・中日ドラゴンズ竜心会
- ・阪神タイガース私設応援団（関東若虎会）
- ・中虎連合会（東京猛虎会、東京岡田会）
- ・MVP（千葉ロッテ）

福岡ソフトバンクホークスと広島東洋カープと東京ヤクルトスワローズの応援団はガチ試合（プロ野球公式戦）の為欠席

まあ実際有り得ない組み合わせの為、「いたとしたら」で考えてください。

ぶつちやけ中虎みたいに解散、活動休止している応援団も書きましたので

この小説はスタンドの事や応援の事も書いつとしているのでどうしくお願いします。

ちょっと疲れたから書きました。

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】ほっとひと息（後書き）

次回から試合に戻ります。

【ジャイアンズ対小説ウィングス】7回表

アナウンス

「7回表、小説ウィングスラッキー7の攻撃です」

阪神政虎

「ひろし君のデータを見た所、彼は速球150ですが、変化球はフオーラーしか無い始末です」

双樹楨

「それで？」

阪神政虎

「あつちの投手はひろしの他には雑魚です」

ピッキー

「シロえもんとかいないの？」

阪神政虎

「シロえもんはスタンドにいるのを5回に発見しました」

i k k i

「5回にって……」

紀葉

「じゃあドリベースからはクロえもんとひろしだけですか？」

阪神政虎

「はい」

千歳涼介

「それじゃあ行きますか」

アナウンス

「フ回表、小説ウイティングスの攻撃は、八番、センター、千歳涼介」

千歳涼介

（ストレートとフォークしか無いならどうちかに絞れる）

【ピシュー】

【バーン！】

小寺主審

「ストライク！」

【ドライブ】

千歳涼介

（今のはストレートだつたな）

ドラえもん

（次は）

【ピシュー】

千歳涼介

（またストレート？）

【バーン!】

小寺主審

「ストライクツウ」

続いてのボールはキャッチャー手前でバウンドするボールだった。

千歳涼介

(未来では小学生が150kmも投げるのか)

ひろし

(凄いなあ~、写真で見た西武ドームのまんまだ…)

ドリえもん

(キメ球で勝負!~)

【ピシコー】

千歳涼介

(フォーアーク!)

【カキン!】

高々と打ち上げた。

【パシ】

ノビスケ

「オーライ」

栄村墨審

「アウト」

アナウンス

「9番、ライト、ジョー・ギブケン」

ジョー・ギブケン

「あのフォーク落ちるなあ」

ドラえもん

「そうでしょ」

ジョー・ギブケン

「人の話勝手に聞くなよ…」

ドラえもん

（そのフォークの性能を見せてやるーぜ）

ひろし

（ああ）

【ピシュー】

【ダス!】

ジョー・ギブケン

（え?）

最初はストレートの軌道だったのにこきなり「ストーン」と落ちる

感じに落ちた。

ジョー・ギブケン

「何だよこのフォーラーク」

阪神政虎

「アレどんぐらで落ちた?」

ピッキー

「ああ?」

ジョー・ギブケン

(2種類しか無いって…、これじゃ)

【ピッシュ口】

【バーンー】

ジョー・ギブケン

(何打てって言えばいいの?)

書き忘れたけどこの前のボールはボールね

小寺主審

「ストライク」

「ストライク

ジョー・ギブケン
「しゃあない」

ジョー・ギブケンさんはバントの体勢

ドリームン
(そんなもんで)

【ペシコー】

ドリームン
(ひりしのフォーカクが打てるかーーー)

【ガキイ】

ドリームン
「え? … グハア…」

何とか当てた打球は後ろに逸れ、ドリームンの頭に激突した。

ドリームン

「痛つたあ…」

ジョー・ギブケン

「ドンマイ（笑）」

ドリームン

(威嚇しろ)

ひるし

(はい)

【ピシュー】

インコースにストレート

ジヨー・ギブケン

「ウワア！」

【バシイー】

小寺主審

「テットボール！」

ドラえもん

「え？」

小寺主審

「ヒジに当たつていいー。」

ジヨー・ギブケン

「痛い…」

阪神政虎

「スタッフ！」

スタッフ？

「はい」

ジョー・ギブケンさんはヒジを痛めたのヒジを押さえてか仰向けになつたまま起き上がりない

チームスタッフが駆けつけて様子を見る。

阪神政虎

「大丈夫かなあ？」

ピッキー
「大事に至らなければいいけど」

「何晒しどんじゃひろし！」

「テメエ何の恨みがあるー！」

ライトスタンンドから『テットボール』に対する野次が聞こえる。

ひろし

「く…」

ドラえもん

「気にするな、避けなかつたのが悪い」

大事には至らなかつた。

アナウンス

「バッターは一番、セカンド、コーリー」

구
리

「...うがて」

睨みつけるコーリさん

ひろし

(ああ……睨んでるよ……ヤダなあ……)

（だいじめ）
（だいじめ）

インコースを指示

ひろし

(マジかよ.. わいわい逝くただる~)

阪神政虎

(ドライもんはインコースを指示、まあそんぐらいの根性が無いと
な)

ドラえもん

(もう !)

ひろし

(ヤーヤダ)

구
리

(インコースに当てて見ろ…)

ひろし

(はあ……)

ドリえもん
(ドリーン)

(もう知らんー)

ひろし

(もう知らんー)

【ピシコー】

【カキイ】

三墨クロえもん真っ正面

クロえもん
「ひおわつと」

石山墨審

「アウトー」

二死一墨

アナウンス

「一番、ピッチャー、双樹樺」

双樹樺

(当たら殺す……)

ひろし

(ハイツもか……)

何とか外角に避けてショートゴロでチェンジ

阪神政虎

「後で報復します？」

ikk i

「当てるの？」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】7回表（後書き）

【7回表終了】

小説	0	1	0	0	3	0	—	4
ジャイ	0	1	1	0	0	1	—	3

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】7回裏

アナウンス

「7回裏、ジャイアンズ、ラッキー7の攻撃です」

剛田武

「この回逆転するぞ！」

アナウンス

「バッターは五番、ファースト、源静香」

源静香

「行くぞオラア！」

セブンの独り言

（相変わらず口が悪い…）

双樹樺

（オテンバ…）

セブンの独り言

（インコースにスライダー）

双樹樺

（はいよ）

【ピシューー】

源静香

「キヤー！」

【バーンー】

小寺主審

「ストライクー！」

「ストライク

源静香

「やつてくれるんじゃないの……」

O S B

双樹榎

(次は……)

セブンの独り言

(落とせ)

双樹榎

(わかった)

【カキイ】

【ピシューー】

叩きつけるようなバッティングは二塁へ

源静香

「ああん！」
「コン畜生！」

紀葉

「はーい」

打球を素手で捕り、一塁送球

【バシイ！】

【ズン！】

西本墨審

「アウト！」

しら

「ギャア！」

いきなりしらさんが倒れた。

阪神政虎

「！！！」

ユーリ

「どうしました？」

セカンドが駆け寄る

しき

「足を……」

ウルトラマンゼロ

「俺は見てたぞー！」こつ足踏みやがった！

ウルトラマンゼロとんは源静香を指差した。

源静香

「なんだよ悪いのか？」

その時

【シーン一】

全員

「……？」

セブンの独り言

「このアマ調子こへんな！」

紀葉

「や、辞めりー。」

阪神政虎

「アレはマズい……」

阪神政虎もベンチから飛び出す。

ドリエもん

「しづかちゃんを助けるー！」

両軍入り乱れる。

小寺主審

「止めんかーー！」

セブンの独り言の怒りは収まらず、既に源静香はボロボロ泣き

れている。

ピッキー

「離せーー離せーー！」

紀葉

「おいー落ち着けーー！」

阪神政虎

「セブンさん辞めろーー！」

結果、…

西本墨審

「暴力行為によつセブンの独り言退場ーー！」

セブンの独り言

「何だつて受けたやーー！」

ドラえもん

「しづかちゃん大丈夫?」

源静香

「え……ええ……」

しかし口と鼻から流血している。

選手の交代を告げる。

阪神政虎

「キヤツチャ一、ピツキーさんで空いた外野には鷹峯瑛さんで一応
しらさんが足の痛みを訴えている為ファースト、上原大人さん」

小寺主審

「わかりました」

アナウンス

「……以上に変わります」

阪神政虎

「嫌な空氣だ」

i k k i

「ピリピリしてる」

アナウンス

「バッターは六番、ノビスケ」

ノビスケ

「畜生」

ピッキー

「荒れるねえ」

双樹榎

（セブンさんが切れるとば…）

ピッキー

（内角に直球）

【ピシュー】

ノビスケ

「いんにゃひー…」

【カギイ】

ボールはセカンドを…

ユーリ

「抜けたあ！」

センター前ヒット

阪神政虎

（ドラえもんに回すな…）

アナウンス

「七番、センター、安雄」

安雄

「しづかちゃんの敵はとつてやる……」

ピッキー

(1回ボールになるフォーカク)

双樹樁

(はい)

【ピシコー】

【力キイ】

紀葉

「バツクバツク……」

三墨紀葉の頭上を

【バシ】

石山墨審

「アウト!」

安雄

「なに!」

紀葉

「ファースト!」

【ピシコー】

【バン!】

上原大人

「アウト!」

西本墨審

「アウト」

「オオオオオオオ!」

【ダダン!】「のーりーはー!」【ダダン!】「のーりーはー!」【ダダン!】「のーりーはー!」

紀葉さんはファウルゾーンギリギリでダイビングキャッチをした後、振り向いて1墨ランナーが既に2墨を回ったのを見ると急いで1墨に送球したのだった。

千歳涼介

「ナイス」

ユーリ

「スーパープレーですよ」

紀葉

「まあな」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】7回裏（後書き）

【7回裏終了】

小説	0	1	0	0	0	3	0	—	4
ジャイ	0	1	1	0	0	1	0	—	3

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】8回表

ドリームもん

「ひのじじいした?」

ひのし

「一瞬ベンチが…」

紀葉

「やつたる」

ピッキー

「こいつらの敵を殴りついで」

ひのし

「殺氣立つてこるんですけぞ」

ドリームもん

「氣にあるな」

アナウンス

「8回表、小説ウイニングスの攻撃は、三番、カーブ、紀葉」

紀葉

【メラメラメラメラ】

ひのし

「ハハ…」

デハネモん
(『気迫なんて氣にするな』)

ひれし
(ウソ)

【ペシコー】

【バーンー】

小寺主審
「ボール」

紀葉

「.....」

紀葉さんは黙つてバットを強く握る。

ひれし

「怖い...」

【ペシコー】

【カキンー】

ひれし

「ああ...」

打球はレフトスタンンドのまるか左く...

「ファウル」

ドラえもん

「危ない、危ない」

クロえもん

「ひるしー。どうしたんだよー。」

ひるし

「ア、『メン』」

クロえもん

「スタンドでみかちゃんが見てるんだぞー。」

ひるし

「やつだね……」

【ペーパー】

【バーンー】

小寺主審

「ボールツウ」

紀葉

「…………」

ひるし

「はあ～」

クロえもん
「ひろし…」

【ペシコー】

【バーンー】

小寺主審
「ボールスリー」

ドラえもん
「タイムー！」

ドラえもんがマウンテンで翻げ寄る。

ドラえもん
「ひろし、しっかりしろ」

ひろし

「ゴメン、何かバッターの気迫が凄いから…」

ドラえもん
「そんなもん気にするな、ミッドだけ見る」

ひろし

「わかった」

小寺主審

「プレイー！」

ひぬつ
(ハヌト ダナリ ハシメダナ)

【ペシコー】

【カキンン】

【バシイー】

石川鑿審

「アウトー」

紀葉

「ベ...」

ひろし

「ナイスキャッチークロー！」

クロえもん

「任せろー！」

アナウンス

「四番、ショート、ウルトラマンゼロ、

ウルトラマンゼロ

「デコワー」

【ペシコー】

【カキンン】

【バシイイ！】

ひろし

「ヒィイ…」

小寺主審

「アウト！」

アナウンス

「五番、ファースト、上原大人」

上原大人

「しらさんの敵！」

【ピシュー！】

【カキイ】

【バシイイ！】

ノビスケ

「ヘーイ！」

栄村墨審

「アウト！」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】 8回表（後書き）

【8回表終了】

小説	0	1	0	0	3	0	0	—	4
ジャイ	0	1	1	0	0	1	0	—	3

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】8回裏

【ダダン】「ふーたーきー！」【ダダン】「ふーたーきー！」【ダダン】
「ふーたーきー！」

マウンドに上がる双樹樺さんにゴールが送られる。

ピッキー

「あと2回です」

双樹樺

「はい」

ピッキー

「抑えましょーつー！」

双樹樺

「はい！」

アナウンス

「8回裏、ジャイアンズの攻撃は、八番、レフト、はる夫」

はる夫

「同点…同点にするぞー！」

双樹樺

(やつてみるや)

【ペシコー】

ボールは低めへ

【バシイ！】

小寺主審
「ボール！」

双樹榎

(少し下に行つたな…)

ピッキー

(次は入れてください)

双樹榎

(はい)

【ペジコー】

はる夫

「うおおおー！」

【カキイ】

当てただけ

双樹榎

「OK、OK」

一墨送球

【バシイ】

西本墨審
「アウト」

はる夫
「畜生…」

ピッキー

(セヒ…)

アナウンス
「9番、キャッチャー、ドラえもん」

ピッキー

(これだよ)

「ドーリー～！」

双樹楨

(一発屋だ…)

ドラえもん

(じずかちゃん…)

双樹楨

(こいつも重要な戦力を一人失っているんでね)

ピッキー

(インゴースに投げる)

【ピシュー】

【カキーンー】

双樹榎

「なに?」

ピッキー

「若干ボール気味だったのに打った!?」

打球は左中間の

【ダス!】

千歳涼介

「間に合わない!」

ど真ん中に落下!

ドラえもん

「よつしゃあ!」

2ベースヒット

双樹榎

「つち、初球を打たれたか...」

アナウンス

「一番、ショート、スネ夫」

阪神政虎がマウンドに向かう。

阪神政虎

「『魔の6回』と共に『魔の8回』と呼ばれる8回だ、これで試合の流れが決まる」

双樹樁

「はい」

阪神政虎

「今から肩作るから9回は任せろ」

双樹樁

「抑えます！」

そう言つて阪神政虎はベンチに戻る。

阪神政虎

「scarletさん、ブルペンキャラお願いします」

scarlet

「はい」

双樹樁

「よし！」

一回ロージンを触つて落ち着かせた後、スネ夫を見る。

スネ夫

(僕だつて…)

スネ夫は左打者なので双樹楨さんも左で投げる。

双樹楨

(ホームは踏ません!)

【ピシュー】

【バーン!】

ピッキー

「あー!」

ドラえもん

「よしー!」

双樹楨

「しまつた!」

投球はキャッチャーの前で高く跳ね、ドラえもんは3塁へ

「かつ飛ばせー、ドラえもんー、ゴーゴーーレッソゴーーー、ドラえもんー!」

【パパー、パパー、パパパパ】

昔は清原和博のテーマだったチャンステーマが流れる。

右往左往に人が走る。（見りやわかる）

双樹榎

（どひする？）

ピッキー

（低め禁物、落ちるボール禁物、制限がかかるなあ～）

双樹榎

（アウトコースの直球？）

ピッキー

（そうだ、左だからレフトからじや浅ければタッチアップできない）

双樹榎

（わかった）

【ピシューー】

【カキイ】

打球はショート、ウルトラマンゼロの

ウルトラマンゼロ

「デュワー！」

グラブの中に…

【ダンー】

入らない！

千歳涼介

「バッくボールさすか！！」

千歳涼介さんが捕つて矢のような返球。

しかしどラえもんは走ってなかつた。

最後の最後まで打球を見極めた結果、本塁突入は無理と判断したのだ。

アナウンス

「一番、ライト、出木杉」

出木杉

「打つ！」

一死1、3塁

クロえもん

【ブゥン！ブゥン！】

ネクストバッターズサークルでクロえもんが素振りをしている。

双樹榎

(出木杉は抑えないと)

「かつ飛ばせて出木杉！ゴーゴーレツツゴー！出木杉！」

チャンステーマも最高潮だ！

ライトスタンンドでは手を合わしている人もいる。

一墨ブルペンでは阪神政虎が9回のリリーフの為、投球練習を始めてる。

ピッキー

(双樹楨さん頑張れ)

双樹楨

「ふう～」

サインを確認して、投げる。

【バシイ！】

小寺主審

「ストライク！」

ピッキー

「ナイスボール」

【パシ】

双樹楨さんは再びロージンに手を添える。

双樹楨

(よしー)

サインを確認して、投げる！

出木杉

(アウトコース、シメタ！)

【ガキイ！】

ボールは後ろへ

小寺主審

「ファウルボール」

出木杉

「フォークだつたか…」

ピッキー

(簡単には打たせないよ)

双樹榎

(桜ヶ丘戦と全然違つや)

ピッキー

(インコースに直球)

双樹榎

(わかつた)

【ピシューー】

ピッキー

「あー！」

出木杉

「モラツタア！」

【カキイーンー】

双樹楓

「しまつたあー！」

ボールは甘く入りど真ん中に

打球はグングン伸びて…

レフトスタンドへ…

「ワアアアアアアアアアアアアアアアアーーー！」

双樹楓さんがマウンドで肩を落とす。

双樹楓

「ああ……」

出木杉

「やつたあーやつたあー！」

逆転3ランホームラン

見事出木杉がホームイン！

そしてナインとハイタッチ

阪神政虎が早くもブルペンから出てくる。

その阪神政虎の代わりに、櫻井さんが審判に交代を告げる。

双樹楓

「すいません」

阪神政虎

「まだ試合は終わってませんよ」

紀葉

「そうですよ！まだ8回ですよー！」

アナウンス

「小説ウイニングス、守備交代をお知らせします。ピッチャーの双樹楓がライト、ライトのジョー・ギブケンに代わりまして阪神政虎、ピッチャー、阪神政虎」

小説 4-6 ジャイ

アナウンス

「バッターは三番、サード、クロエモン」

クロエモン

「2点じゃダメだ！」

阪神政虎

(クロえもんか…)

阪神政虎は藤川球児みたいに独特なテンポをとつて投げた。

【バーン!】

小寺主審

「ストライク!」

「ヒューライク

阪神政虎

(まず初球はストライク…)

ピッキー

(次は変化球で)

【ピシュー!】

クロえもん
(カーブ!)

【ガギー!】

小寺主審
「ファウル」

阪神政虎

(トドメはストレート!)

【ピシコー】

【バーンー】

小寺主審

「ストライクバッターアウト！」

ゴトライク

クロえもん

「あそこでストレーント…」

続くひるじも凡退した。

阪神政虎

「逆転するぞー！」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】8回裏（後書き）

【8回裏終了】

小説 010 003 00 — 4

ジャイ 011 001 03 — 6

【小説】

桜井秀哉・双樹楓・阪神政虎／セブンの独り言・ピッキー

【ジャイアンズ】

さとし・剛田武・ひろじ／剛田武・ドリームん

【小説本墨打】

しら1号?

【ジャイアンズ本墨打】

源静香3号?

さとし1号?

ドリームん1号?

出木杉2号?

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】9回表

阪神政虎

「土壇場の逆転劇だ！ラストは逆転の逆転で締めるぞ！」

全員

「はい！」

アナウンス

「九回表、小説ウイニングスの攻撃は、六番、キャッチャー、ピッキー」

「ピッキーさん！」

「頼むー！」

ピッキー

「塁に出るー！」

ドリームン

(させるか、初球ストレート)

ひろし

(はい)

【ピシュー】

【バシンー】

小寺主審

「ストライク！」

「ストライク

ピッキー

（さつきよりも威力がある…）

ドラえもん
(いこぞ…)

【ピシュー】

【ガギイ】

小寺主審

「ファウルボール！」

ピッキー

（手前で伸びるなあ）

ドラえもん

（見せ球無し…一気に決めるぞ…）

ひるし

(おう…)

ピッキー

（見せ球はあるよな?）

【ペシコー】

ピッキー

「なに……」

【バシンー】

小寺主審

「スツトライクバッターアウト……」

「トライク

ピッキー

「あ～、畜生！」

裏をかかれ思わずバットを叩き付ける。

アナウンス

「七番、レフト、鷹峯琰

鷹峯琰

「墨に出るのが優先……」

しかし……

【カキン】

鷹峯琰

「ああ……」

ピッチャーポロ

これで2アウト

アナウンス

「八番、センター、千歳涼介」

千歳涼介

「俺で終わってたまるか…」

ドラえもん

「後一人！」

ジャイアンズナイン

「オー！」

レフトスタンンドから「後一人ゴール」が始まった。

千歳涼介

（負けるか…）

そしてカウントは

O S B

阪神政虎
「回せえ！」

ひろし

(これが…ラストだあー！)

【ペシコー】

千歳涼介

(ストレート…)

千歳涼介さんが振りに行く！

【バシンー】

千歳涼介

(ーー)

小寺主審

「スツトライクバッターアウト…！ゲームセツト！」

ひろし

「やつたあー！」

ドラえもん

「2連勝だー！」

阪神政虎

「あ～あ…」

千歳涼介

「…………」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】9回表（後書き）

【試合終了】

小説	0	1	0	0	0	3	0	0	0	—	4
ジャイ	0	1	1	0	0	1	0	3	X	—	6

【小説】

桜井秀哉・双樹樺・阪神政虎／セブンの独り言・ピッキー

【ジャイアンズ】

さとし・剛田武・ひろじ／剛田武・ドラえもん

【小説本墨打】

しら1号?

【ジャイアンズ本墨打】

源静香3号?

さとし1号?

ドラえもん1号?

出木杉2号?

【勝利投手】

ひろし（1勝）

【敗戦投手】

双樹樺（1敗）

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】試合終了後

アナウンサー

「放送席！放送席！本日のヒーローです！本日のヒーローは出木杉選手！見事逆転3ランホームランを放ちました！！」

双樹楨

「…………」

紀葉

「…………」

（ロッカールーム）

阪神政虎

「ま、仕方ないです」

紀葉

「あの、じゅさんは？」

阪神政虎

「軽い捻挫です次の試合には出れます」

紀葉

「よかつた」

i k k i

「次は？」

阪神政虎

「明治神宮球場での、学園都市ゴールデンガールズ戦です」

ピッキー

「今度は『ある』ですか…」

阪神政虎

「現地集合ですのでお気をつけて」

全員

「はあ～い」

阪神政虎

「それと、次の試合から補強選手が来ます」

全員

「ええ…！」

阪神政虎

「今紹介しちゃいますね～」

そう言って阪神政虎が手を叩くと

三人入ってきた。

【ガラツ】

s c a r r i e t

「え?」

ユーリ

「うそ…」

阪神政虎

「レンタル選手として前半戦活躍してくれる阪神タイガースから起
こしのザラテ選手と次試合から参加の霧嶺劉斗選手、そして、熊谷
政秀選手です」

全員

「オ~」

千歳涼介

「質問です、『レンタル選手』って何ですか?」

阪神政虎

「期限付きで所属する選手の事です」

千歳涼介

「なる程」

紀葉

「よくプロ選手連れてこれましたね」

阪神政虎

「彼は育成選手なので」

i k k i

「なる程」

阪神政虎

「それでは皆さん、次回は勝つぞーーー！」

全員

「オオ！」

【ジャイアンズ対小説ウイニングス】試合終了後（後書き）

次回は各チームの新入団選手発表会

ザラテ選手…阪神タイガース背番号116

霧嶺劉斗選手…作者さん

熊谷政秀選手…単に補強

新人団選手発表会（前書き）

プロ野球ファンなら分かる「ネタキャラ」も…

新入団選手発表会

【小説ウィテングス】

補強選手

- ・ザラテ（阪神から）
- ・霧嶺劉斗（新入団）
- ・熊谷政秀（補強）

阪神政虎

「小説ウィテングスはザラテ選手、霧嶺劉斗選手、熊谷政秀選手の入団を発表します」

【カシヤカシヤカシヤカシヤ】

記者？

「監督！ズバリ補強の点は何ですか？」

阪神政虎

「ウイティングスは現在、先発のイッキさん、桜井秀哉さんと中継ぎは外野手兼任の双樹慎さんに抑えが私と投手不足なので阪神タイガースから『レンタル選手』という形で育成選手のザラテ選手を獲得しました」

記者？

「打線の方は？」

阪神政虎

「紀葉さん、ウルトラマンゼロさん、しさるのクリーンアップに

ピッキーさんと非常に良い選手が揃っているので大丈夫です「

【桜ヶ丘ティー・タイム】

補強選手

- ・高町なのは（リリカルなのは）
- ・グラマン（元中日）
- ・メンチ（元阪神）

山中さわ子

「桜ヶ丘ティー・タイムは高町なのは選手、グラマン選手、メンチ選手の入団を発表します」

【学園都市ゴールデンガールズ】

補強選手

- ・高坂桐乃（俺妹）
- ・ヴィータ（なのは）

木山春生

「学園都市ゴールデンガールズは以上の選手の入団の合意を発表します」

【ジャイアンズ】

補強選手

- ・エーモンド（助つ人）
- ・パクえもん（助つ人）
- ・ゴンザレス（外人）

剛田武

「ジャイアンズはエーモンド外野手、パクえもん捕手、ゴンザレス投手の入団を発表します」

【マリオマリナーズ】

補強選手

- ・タフイローズ（元近鉄他）
- ・李スンヨプ（元オリックス他）

マリオ

「マリナーズはタフイローズさんをコーチ兼選手に李スンヨプ選手のレンタルが決まりました」

【インデックス】

補強選手

- ・落田 バワボケ
- ・具田 バワボケ
- ・亀田 バワボケ
- ・李柄圭（元中日）
- 一方通行
- 「以上だ！」

【亀有ポリスマンズ】

- ・補強選手

無し

両津勘吉

「金が勿体無い！」

【ポケットモンスターZ】

補強選手

無し

オーキド

「大丈夫じゃ」

新人団選手発表会（後書き）

次回から「学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィンクス】試合開始前の前（前書き）

選手各自の視点ですが…

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス】試合開始前の前

（阪神政虎 sides）

明治神宮野球場までは選手各自が現地集合だ。

阪神政虎は東京メトロ銀座線で外苑前を目指していた。

阪神政虎
(1勝1敗か…)

目の前のスポーツ新聞には【逆転！逆転！また逆転！最後は出木杉
3ラン！】という見出しが載っている。

勿論あの試合の事だ

阪神政虎
(失投が残念だ)

銀座線で外苑前に下車すると

？？？

「ねえここが近いって本当？」

「そうだつて」

？？？

「本当?」

それぞれ紀葉さん、しらさん、ピッキーさんのサポートユニフォームを着た「個性豊かな」三人組がいた。

阪神政虎

(今日の試合の観客か…)

阪神政虎はそのまま外苑前から神宮球場へ向かつた。

（紀葉 and shirisan）

紀葉さんはしらさんは現在、神宮バッティングドームにいる。

【力キイン!】

【力キイン!】

【力キイン!】

紀葉

「しらさん足大丈夫ですか?」

しら

「もう平氣です」

紀葉

「よかつた

しら

「でもセブンさんが退場処分の影響で今日の試合出られないと

紀葉

「そうですか…」

shikkina nōpīchi - si da e

i k k iさんは神宮の室内練習場を借りてピッキーさんと投球練習

している。

【バシイー】

ピッキー

「ナイズボール」

i k k i

「どうも

ピッキー

「はあ、今日オレがマスクか…」

i k k i

「そういうえばセブンさんは今日出場禁止でしたよね」

ピッキー

「そりなんだよな…」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィンクス】試合開始前の前（後書き）

全員分は無理です。

すいません…

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィンクス】試合開始前（前書き）

今年も神宮へ…

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィンクス】試合開始前

（明治神宮野球場）

阪神政虎

「今日もアウエイです」

i k k i

「そうですか」

阪神政虎

「本日はスタメンを変えました」

? 双樹楨（中）

? 鷹峯瑛（左）

? 紀葉（二）

? ピッキー（捕）

? しら（一）

? 千歳涼介（右）

? s c a r l e t （遊）

? コーリ（二）

? i k k i （投）

紀葉

「あれ？ ウルトラマンゼロさんば？」

阪神政虎

「今日は代打の切り札です」

ウルトラマンゼロ

「デュワ！」

【力キン！】

現在、小説ウイニングスが打撃練習中だ。

因みに学園都市ゴールデンガールズは前試合で桜ヶ丘ティータイム
に3・7と敗れ0勝2敗だ。

御坂美琴

「1勝しているのはいいな」

阪神政虎

「しらさんナイスバッティング！」

（一塁ベンチ）

木山春生

「一応大事な事だから言つが能力の制限には気をつけて」

全員

「はあ～い」

絹旗最愛

「まあ私みたいな既に無理な選手も超いるわけですが」

御坂美琴

「まあね」

（三塁ベンチ）

阪神政虎

「今日は勝ちましょー！」

全員

「はーー！」

（スタンド）

アミティ

「野球場に来るのは初めてだね」

あんどうりんぐ

「ウイーテングスって強いつて聞いたけど……」

アルル

「みんなのホットドック買つてきたよ～1500円もしたけど」

二人

「たつか！」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス】試合開始前（後書き）

神宮球場のレフトスタンドに美味しいホットドック屋があります。

1つ500円とかだけど…

神宮球場のバックスクリーン下に「東京ラーメン」売っています。

1つ600円だけど…

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィンクス】スタメン発表

（スタメン発表の時間）

阪神政虎

「それじゃ」

木山春生

「ああ」

阪神政虎がふと一瞬を見ると

阪神政虎

「なんでつば九郎が来てるねん（笑）」

つば九郎

（やあ）喋れないのでボード使用

阪神政虎

「ヤクルトのマスコットじゃないんかい（笑）」

つば九郎

（かわいいおんなのこたちのおひえんさ）

阪神政虎

「セクハラしに来たんじゃないの（笑）」

つば九郎

（え？）

阪神政虎

「お前よく妹のつばみとかにセクハラするやんけ、挙げ句の果てにはチアリーダまでやってるし」

つば九郎

(オレつばめだから)

阪神政虎

「理由になつてねえ！」

つば九郎

(まあきょうはがんばれよ、タイガースも)

阪神政虎

「あのウイニングスですけど」

つば九郎

(しつれいしつれいwww)

阪神政虎

「笑つてんじやないよーーー！」

ピッキー

「何やつてんだ？」

アナウンス

「大変長らくお待たせいたしました。学園都市ゴーリュ・デンガールズ

対小説ウイニングスのスター「ディングラインアップ及びアンパイアをお知らせします。先攻の小説ウイニングス、一番、センタア、双樹樅」

【ダダンー】「ふ、た、きー」【ダダンー】「ふ、た、きー」【ダダンー】「ふ、た、きー」

アナウンス

「一番、レフト、鷹峯瑛」

【ダダンー】「た、か、みね！」【ダダンー】「た、か、みね！」
【ダダンー】「た、か、みね」

アナウンス

「三番、サード、紀葉」

【ダダンー】「のーりーはー」【ダダンー】「のーつーはー」【ダダンー】「のーつーはー」

アナウンス

「四番、キャッチャー、ピッキー」

「ええ？」

【ダダンー】「ピッキー」【ダダンー】「ピッキー」【ダダンー】「ピッキー」

「何で？」

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

【ダダンー】「しーらー」【ダダンー】「しーらー」【ダダンー】
「しーらー」

アナウンス

「六番、ライトオ、千歳涼介」

【ダダンー】「ち、と、せー」【ダダンー】「ち、と、せー」【ダ
ダンー】「ち、と、せー」

アナウンス

「七番、ショート、scarlet」

【ダダンダン】「scarlet!」【ダダンダン】「scarl
et!」【ダダンダン】「scarlet!」

アナウンス

「八番、セカンド、ゴーリー」

【ダダン】「ゴーリー」【ダダン】「ゴーリー」【ダダン】「ゴ
ーリー」

アナウンス

「九番、ピッチャー、ikkii」

【ダダンダン】「ikkii」【ダダンダン】「ikkii」
【ダダンダン】「ikkii」

「オー、ロッテー！」

パトリック・ユウ

「皆さんここにまちまー！」

紀葉

「誰だあれ？」

パトリック・ユウ

「本日は神宮球場に来て下りてありがとうございます。今日は学園都市「ゴーラ
デンガールズの試合！ それでは、いつものいつみてみよーーー！」

しら

「いつもの？」

【パパパパッパー】 「GO! GO! ピークス！」
【パパパパッパー】 「GO! GO! ピークス！」

阪神政虎

「ちゃんとガールズ仕様になつてゐる……」

パトリック・ユウ

「それでは、スター・デイ・イングラインアップの発表だ！ 一番、セント
アフィルダ、みさかあ！ みことー！」

「かつ飛ばせ！ 御坂！」

パトリック・ユウ

「一番、セカンド、初春飾利！」

「かつ飛ばせ！ 初春！」

パトリック・ユウ

「三番、ピッチャー、さあてんーるー！」

「かつ飛ばせ！佐天！」

パトリック・ユウ

「四番、ファースト、麦野沈利」

「かつ飛ばせ！麦野！」

パトリック・ユウ

「五番、ライトオ、絹旗最愛」

「かつ飛ばせ！絹旗！」

パトリック・ユウ

「六番、レフトウ、白井黒子」

「かつ飛ばせ！白井！」

パトリック・ユウ

「七番、ショート、フレンダ・セイヴァン！」

「バー、バー、レッジバー、フレンダー！」

パトリック・ユウ

「八番、キャッチャー、個法美偉」

「かつ飛ばせ！個法！」

パトリック・ユウ

「九番、カード、高坂桐乃」

「かつ飛ばせ！高坂！」

【ペイペイ・バッピング】

「ファイトファイトファイトヒーロー、君じやヒーロー、チャンス
がガツツだヤクルトスワローズ！」

アナウンス

「アンパイアは、主審西本、墨審、一墨佐々木、二墨、丹波、三墨
小林、公式記録員は中村、試合開始までしばらくお待ちください」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィテングス】スタメン発表（後書き）

本当は「一番、センター、御坂美琴」の後に応援歌があるけど全員分考えるのが無理なので省略

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィンクス】 1回表（前書き）

イグッチョさんがチームに入りました。

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィテングス】1回表

アナウンス

「1回表、小説ウィテングスの攻撃は、一番、センター、双樹樁」

個法美偉

（佐天さん、初球はスライダー）

佐天涙子

（はい）

【ピシュ】

双樹樁

（スライダー…）

【バシイ】

西本主審

「ストライク！」

双樹樁

（初球入れてきたな…）

個法美偉

（次は外すよ）

佐天涙子

（はい）

【バシイ！】

西本主審
「ボール」

双樹樺

(次は高めか…)

個法美偉

(次は外角に入れてください)

佐天涙子

(はい)

【ピシュ】

個法美偉

「あ！？」

【バシイ！】

西本主審

「ボールツウ」

個法美偉

(楽にして楽に)

佐天涙子
(はい)

個法美偉

(次は入れてね)

佐天涙子

(はい)

【ピシュ】

【カキン!】

高坂桐乃

「あ……」

フレンダ

「ありや」

三遊間抜けるレフト前ヒット

アナウンス

「二番、レフトウ、鷹峯琰」

鷹峯琰

(ワザとバントの態勢)

個法美偉

(バントだ……高めに)

個法美偉

(はい)

佐天涙子

(はい)

【ピシュ】

個法美偉
(来た!)

個法美偉が少し前に出る。

その時

【スウ…】

個法美偉
「な！？」

【ガスつ！】

バントの姿勢からいきなりヒッティングの姿勢になつた鷹峯瑛さん
のバットに個法美偉のマスクが激突！

個法美偉

「痛い…」

西本主審

「インターフェアーバッター1墨！」

阪神政虎

「打撃妨害か…」

個法美偉

「はあ～」

鷹峯瑛

(じてやつたり～)

紀葉

「鷹峯瑛さんよくそんな事できたなあ

紀葉わんはそつて鷹峯瑛さんの持つてたバットを見ると

紀葉

「なつが！」

1メートルはある

紀葉

「これだつたらキヤッチャーと当たるよな…」

アナウンス

「三番、サー、ド、紀葉」

紀葉

「今日は打つか～

個法美偉

(3番打者は4番打者に繋げるために打つ存在)

佐天涙子

(はい)

【ペシコ】

紀葉

(外角の直球、ボールだ)

【バシイー!】

西本主審

「ボール」

佐天涙子

(今のボール?)

紀葉

(際どかつたな……)

個法美偉

(さつきのでもう一回外角来ると思いはねや)

紀葉

(外角来るか…)

個法美偉

(内角く…)

【ペシコー!】

紀葉

(何だよ…)

【カキン！】

紀葉

（そのまんま裏かいただけじゃないか…）

打球はレフト方向へ

白井黒子

（能力は使用禁止ですから無理ですの）

打球はレフトフェンス直撃

紀葉

（まずは2塁…）

既に2塁ランナーはホームベースを踏んだ。

紀葉

（鷹峯さんは？）

2塁に到着した紀葉さんは鷹峯琰さんを探す。

鷹峯琰

「イエーイー！」

紀葉

「いた」

小説ウイニングス2点先制

個法美偉

「ダンマイ、ダンマイ 締まつて行へよ～」

佐天涙子

「はい」

アナウンス

「四番、キャッチャー、ピッキー」

ピッキー

「『』の小説で始めて四番打者か…」

阪神政虎

「頼んまつせ」

佐天涙子

（なんとか2点に抑えたい…）

個法美偉

（じやあここしかない）

インコースの腰に来るボール

ピッキー

（何だよ…）

【カキン】

高坂桐乃

「ワア！」

三塁線を突き破る。

白井黒子

「またですの……」

白井黒子が捕球した時、既に紀葉さんは三塁を蹴つてホームに向かつて走つていった。

個法美偉

「カット！ カット！」

ショートのフレンダでボールは止まった。

小説ウイニングス3点目。

アナウンス

「五番、ファースト、しら」

しら

「よしきた！」

佐天涙子

「く……」

個法美偉

「だからって言つて力んじやダメよ

佐天涙子

「はい」

佐天涙子にそう声をかけた個法美偉は元に戻る。

西本主審
「プレイ！」

個法美偉

(しらさんは強打者だから一球外して)

佐天涙子
(はい)

【ピシュー】

【バシイ】

西本主審
「ボール」

しら

(外すのか)

個法美偉

(一球目は... 外にいっぱい)

佐天涙子

(はい)

【ピシュー】

しら

(ボール…)

【バシイ】

西本主審

「ボールツウ！」

個法美偉

（外れてるの…）

しら

（明らかにコントロール悪いな…）

個法美偉

（それじゃ、0・3にするのはマズいから入れて）

佐天涙子

（はい）

【ピシユー】

しら

（今度は入れてきたか…）

【バシイ！】

西本主審

「ストライク！」

O S B

しら

(次はギリギリ…)

個法美偉

(真ん中高めに変化球)

佐天涙子

(はい)

【ピシロ】

しり

(高めに…)

【ガギイ】

西本主審

「ファールボール」

しら

(平行カウント…)

個法美偉

(今度は低めよ)

佐天涙子
(はい)

【ペシコ】

【カキン】

打球は一塁に…

麦野沈利

「そりやー！」

ファースト麦野が一塁を踏まずに一塁へ送球

フレンダ
「はい」

フレンダが一塁を踏みながらジャンピングスロー

丹波墨審

「アウト」

麦野が送球をキャッチ

【バシイ】

佐々木墨審

「アウト」

しら

「ああ～」

阪神政虎

「ゲッツーか

続く千歳涼介さんも倒れた。

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス】 1回表（後書き）

【1回表終了】

小説 3 — 3

学園 — 0

【小説】

i k k i / ピッキー

【学園都市】

佐天涙子 / 個法美偉

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィンクス】1回裏

i k k i

「3点先制しましたね」

ピッキー

「ああ」

i k k i

「気を引き締めていきます！」

ピッキー

「頼みます」

アナウンス

「1回裏、学園都市ゴールデンガールズの攻撃は、一番、センター、
御坂美琴」

御坂美琴が左打席に入る。

ピッキー

（足早え～からな～）

「行くぞ御坂美琴～」

ピッキー

（青木宣親）（笑）

i k k i

(ビッシュます?)

ピッキー

(低めに投げる、内野陣は俊足態勢)

i k k i

(はい)

【ピシコ】

【バシ】

西本主審

「ストライク」

ピッキー

(初球には…、手を出さなか…)

御坂美琴

(何なのピッチャーのあのフォーム?)

御坂美琴は上kさんとの左のアンダースローに吃驚していた。

ピッキー

(次は高め、散らす)

i k k i

(はい)

【ピシコ】

【バシ】

西本主審
「ボール」

ピッキー

（ボールになつたか、主砲とかだつたら別にいいカビコイツは後足
だからな～）

i k k i

（ランナーにいつは出したくな～）

ピッキー

（外角に直球）

i k k i

（はい）

【ペシコ】

【カキン】

小林墨審

「ファール」

O S B

木山春生

「3点差なんだ…、ガンガン打つていかないと間に合わないぞ」

ピッキー

(外角しつこくするぞ)

i k k i

(はい)

【ピシュ】

【カキン】

紀葉

「オーライ、オーライ」

紀葉さんがキヤッチそして

【バン!】

佐々木豊

「アウト!」

アナウンス

「一番、セカンド、初春飾利」

初春飾利

「よしつー」

ピッキー

「おまえ聞いたとこによると『阪神ファンのタイガース日記』のレギュラーから外されたらしいじゃん？」

初春飾利

「うう…」

ピッキー

(精神的ダメージか?)

初春飾利

「うう…、うう…、うう…」

【バシイ!】

西本主審

「スットライクバッターアウト！」

3球3振

佐天涙子

「バットは振りなさい」

アナウンス

「3番、ピッチャー、佐天涙子」

ピッキー

(なんで4番が3番に?)

i k k i

(打順変更か?)

ピッキー

(とつあえず一発あるから注意な?)

i k k i

(はい)

【ピシュ】

西本主審

「ボール」

ピッキー

(外角のボールに反応した…)

i k k i

(外か…)

ピッキー

(もつ一回外見てみる)

【ピシュ】

【カキン】

西本主審

「ファウル」

ピッキー

(やつぱ外狙いか…)

i k k i

(それじゃもう一回外で追い込みますか?)

ピッキー

(やうですね)

【ピシュ】

【カキンー】

西本主審

「ファウル

佐天涙子

「はあ……」

ピッキー

(よし! 最後は外にシンカー)

i k k i

(え? 内じゃないの?)

ピッキー

(さすがに読まれるだろ)

i k k i

(なる程)

【ピシュ】

【カキイ】

s c a r l e t

「あらよつと」

【バシイ】

しら

「アウト！」

佐々木墨審

「アウト」

佐天涙子

「外かあ～」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス】1回裏（後書き）

【1回裏終了】

小説 3 — 3

学園 0 — 0

【小説】

i k k i / ピッキー

【学園都市】

佐天涙子 / 個法美偉

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィテングス】2回表

アナウンス

「2回表、小説ウィテングスの攻撃は、七番、ショート、scarlet」

scarlet

「スタメンはいいね～」

個法美偉

（初球、入れて）

佐天涙子

（はい）

【ピシュ】

【バシイ】

西本主審

「ストライク！」

個法美偉

（いいよ、いいよ）

佐天涙子

（次は？）

個法美偉

(内に)

【ペシュ】

【カキイ】

西本主審

「ファールボール」

s c a r l e t

「お～」

個法美偉

(追い込んだ…、後は…)

【ペシュ】

【カキイ】

佐天涙子

「初春！」

初春飾利

「はい」

セカンドゴロ

アナウンス

「八番、セカンド、ユーリ」

ユーリ

「なんか…、見ためそこそこだなあ…」

【ピシュ】

【カキン】

ライト前ヒット

アナウンス

「九番、ピッチャー、*ikkii*」

ikkii

「勿論」

阪神政虎

(送りバント)

【ロング】

二死一塁

ピッキー

「*ikkii*さんはバントですか?」

阪神政虎

「ピッチャーだからね、変に打撃に加わって投球のペースを崩すよ
りかはいい」

ikk i

「ナニシテ」と

続く一番双樹楨さんが倒れてチョンジ。

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィンクス】2回表（後書き）

【2回表終了】

小説 30 — 3

学園 0 — 0

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス】2回裏

アナウンス

「2回裏、学園都市ゴールデンガールズの攻撃は、四番、ファースト、麦野沈利」

麦野沈利

「さてと…」

ピッキー

（「コイツはアカン…、この前の桜ヶ丘戦ではコイツの2本連続HRがあつた…」）

i k k i

（外しますよ）

ピッキー

（そうだな）

【ピシュ】

【バシイ】

西本主審

「ボール」

続く、ボールも外れ2ボール

麦野沈利

(勝負せんかい…)

ピッキー

(低めに逃げるシンカー)

【ピシゴ】

【カキイン】

小林墨審

「ファール」

麦野沈利

「沈みやがった…」

阪神政虎

「この後の縄旗も打つんだよね…」

【ピシゴ】

【カキインー】

阪神政虎

「…！」

ピッキー

「な…、低めのボール球だぞ…！」

センター、双樹樋がバツクする。

【ガン！】

双樹 横

「うわあ…」

「ワアアアアアアアアアアアアアア…！」

バックスクリーンに

麦野沈利

「ワハハ！」

ピッキー

「あの怪力女め…」

紀葉

「ああ、傘が眩しい…」

ライトスタンンドでは傘を使った「東京音頭」の大合唱。

絹旗最愛

「超凄いです」

絹旗とハイタッチをする麦野。

絹旗最愛

「さてと」

アナウンス

「五番、ライト、絹旗最愛」

ピッキー

(なんかこいつもパワーがあるのか…)

阪神政虎

(本当にあるのか?)

「小説倒せ〜、ぶつ飛ばせ〜」

O S B

i k k i

(逃げます?)

ピッキー

(ここにはストライクに入れ!)

【ピシュ】

【バシイ!】

西本主審

「ストライクツウ！」

i k k i

(フルカウント…)

ピッキー

(外に内に外してみたけど全く反応しない…)

絹旗最愛

(…………)

ピッキー

(ビリ独りでいるんだ?)

ikki

(ギロギロにストレートは?)

ピッキー

(やうだな)

【ピッピ】

【カキンノ】

ピッキー

「これも?」

ジャストミートした打球はレフトへ…

鷹峯琰

「オーライ、オーライ」

【バシ】

小林墨審

「アウト!」

阪神政虎

(逆に力がかかりすぎて落ちたな…)

アナウンス

「六番、レフト、白井黒子」

阪神政虎

(白黒白黒…)

【ペジコ】

【カキン】

ピッキー

「初球打ち?」

打球はセンター前へ

ikk_i

「1ナウトだ、締まつていぐぞー」

アナウンス

「七番、ショート、フレンダ」

フレンダ

「はいはい、任せて頂戴」

「フレンダア～」

ピッキー

(フレンダかあ…、初球変化球)

【ピシュー】

【カキイ!】

i k k i

「紀葉さん!」

紀葉

「いいよ、いいよ」

サード紀葉が掘んで一塁送球

【バシー】

丹波墨審

「アウト」

ゴーリ

「ファースト!」

一塁送球

【バシイー】

【ダン!】

佐々木墨審

「セーフ！」

しら

「えええ！？」

フレンダ

「間に合つた…」

二死一塁

アナウンス

「八番、キャッチャー、個法美偉」

【ガキイ】

3球目を打ち損じ、キャッチャーフライ

ピッキー

「オーライ」

【バス】

西本主審

「アウト。」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス】2回裏（後書き）

小説 30 — 3

学園 01 — 1

【小説】

ikkii/ピツキー

【学園都市】

佐天涙子 / 個法美偉

【学園都市本墨打】
麦野沈利 3号？

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィテングス】3回表

アナウンス

「3回表、小説ウィテングスの攻撃は、一番、レフト、鷹峯琰」

鷹峯琰

「うおーし！」

個法美偉

（さつきはよくも…）

鷹峯琰

（さつきのは上手くいったな）

佐天涙子

（もうあんな長いバットじゃない）

先ほどの打席で使った1Mのバットは：

しら

「本当に長いなあ～」

しらさんが持っていた。

【カキン】

初春飾利

「はい」

【バシイ】

佐々木墨審

「アウト」

鷹峯琰

「当たりが正面過ぎたな…」

アナウンス

「三番、サークル、紀葉

個法美偉

（ここつも打つ…）

【ペシコ】

【バシイ】

西本主審

「ボール」

続く2、3球目も外れて3-0

個法美偉
(次は見送るはず)

【ペシコ】

【バシイ】

西本主審

「ストライク！」

紀葉

(やつと入った)

個法美偉
(次は…)

【ピシュ】

【カキイ】

西本主審

「ファールボール」

O S B

個法美偉

(さあ決めちやつてー!)

【ピシュ】

【ダス】

西本主審

「ボーリュフォア！テイクワンベース！」

紀葉

「ピッキーさん！」

ピッキー

「続くぞ！」

アナウンス

「四番、キャッチャー、ピッキー」

個法美偉

（場面は嫌だわね）

佐天涙子

（えーと状況は…、一死一塁か…）

【ピシコ】

ピッキー

「おー」

【カキンン！】

ピッキー

「甘い！」

個法美偉

「失投！？」

佐天涙子

「あ…」

打球は再びバッククリーンへ

「ワアアアアアアアアアアアアアア！」

ペッキ

一九三九年十一月

学園小説 1 - 5

阪神政虎

「ナイスバッティング！」

ピッキー

「アーティスト」

ホームに帰ったピッキーさんはナインとハイタッチする。

アナウンス

۷۵

「しかし今日は大活躍だなピッキーさん」

個法美偉

(前回は怪我で途中交代だつたけど…足は大丈夫なのかしら?)

佐天涙子

(振りせにいれます?)

個法美偉
(ねうひね)

【ペジコ】

【バシイ】

西本主審
「ストライク」

しき

(何だ今の?)

個法美偉

(これは甘いわね)

しき

(甘過ぎて逆に振れない)

個法美偉

(次はもっと厳しく)

佐天涙子

(はい)

【ペジコ】

【バシイ】

西本主審

「ボール」

しら

(今度は厳しく来たな~)

個法美偉

(今のがストライクだつたら…)

佐天涙子

(入れてよ)

個法美偉

(判定は仕方ないわ、佐天さん)

佐天涙子

(そうですね)

しら

「ふう」

個法美偉

(インコースに直球)

佐天涙子

(はい)

【ピシュ】

しら

「わあー！」

【ドス】

しら

「ギャア！」

西本主審

「デットボール！」

しら

「痛いな～」

佐天涼子

「ごめんなさい」

個法美偉

（何で当たるのよ…）

アナウンス

「六番、ライト、千歳涼介」

個法美偉

（佐天さん頼みますよ）

千歳涼介

（じゅじゅ馬め…）

千歳涼介さんに2-1のカウント

千歳涼介
(つたく)

【ピシュ】

千歳涼介
(ぢぢづらりょうだよー！)

【カキンンー】

フレンダ
「よー」

【バシイ】

6—4—3のダブルプレー

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス】3回表（後書き）

【3回表終了】

小説 302 — 5

学園 01 — 1

【小説】

ikkiri/pikkī

【学園都市】

佐天涙子／個法美偉

【小説本墨打】
ピッキー1号？

【学園都市本墨打】

麦野沈利3号？

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィンクス】3回裏

ピッキー

「4点差です。のびのび行きましょう!」

i k k i

「はい」

阪神政虎

「ヤベエ…、『MASTERキートン』面白い」

イグッチョ

「どうだつていい…」

アナウンス

「3回裏、学園都市ゴールデンガールズの攻撃は、九番、サード、
高坂桐乃」

高坂桐乃

「この作者私の事を知ってるの?」

ピッキー

「多分知らないと思つぜ」

高坂桐乃

「え?」

ピッキー

「元々、あまりアニメを知らない人だから」

高坂桐乃

「よくこんな企画考えたわね」

ピッキー

「ほんとだよ」

ikkii

（初球は？）

ピッキー

（内角に）

【ピジコ】

【カキン】

紀葉

「初球打つてきたな～」

カード「ロ

アナウンス

「一番、センター、御坂美琴」

「のりちかあ！」

御坂美琴

「違ひわよーーー！」

ピッキー

「人気ですね」

御坂美琴

「私は青木宣親じゃない！」

「一」「二」で、勝利を呼べ

i k k i

(でも応援歌は青木宣親じやん)

【ピシュ】

【バシイ】

西本主審

「ボール」

御坂美琴

(初球ボール?)

ピッキー

(次は、外角に入れてください)

i k k i

(はい)

紀葉

(ピッキーさんが外角を指示している)

しら

(内野は俊足に備える)

s c a r r e t

(俊足御坂)

ユーリ

(脚速いんだよなあ)

ピッキー

(内野陣は俊足態勢バツチシ)

【ピシロ】

【ロホン】

紀葉

「！…！」

西本主審

「ファール」

紀葉

「ファウルか…」

阪神政虎

(御坂は出すなよ…)

【ピシロ】

【カアキン!】

阪神政虎

「あ！」

【バシイ!】

しら

「よつしゃー」

佐々木墨審

「アウトー」

阪神政虎

「ナイスしらさんー」

i k k i

「ありがとうしらさんー！」

アナウンス

「一番、セカンド、初春」

ピッキー

（力抜いていいぞ）

i k k i

（はい）

【ピシコ】

初春

「えい！」

【カキン】

i k k i

「あら〜」

ボールは・・・・さん所へ

【バシイ】

佐々木墨審

「アウト」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス】4回表（前書き）

【リーグ戦順位表】

?マリオマリナーズ

(2 / 2 / 0 / 0 / 1 . 0 0)

?ジャイアンズ (2 / 2 / 0 / 0 / 1 . 0 0)

?亀有ポリスマンズ (2 / 2 / 0 / 0 / 1 . 0 0)

?小説ウイニングス (2 / 1 / 1 / 0 / . 5 0 0 / 1 . 0)

?桜ヶ丘ティー・タイム (2 / 1 / 1 / 0 / . 5 0 0 / 1 . 0)

?インデックス (2 / 0 / 2 / 0 / . 0 0 0 / 2 . 0)

?学園都市ゴールデンガールズ (2 / 0 / 2 / 0 . 0 0 0 / 2 . 0)

?ポケットモンスター (2 / 0 / 2 / 0 . 0 0 0 / 2 . 0)

(試合数 / 勝利 / 敗戦 / 引き分け / 勝率 / ゲーム差)

・ゲーム差は首位を基準に

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィテングス】4回表

アナウンス

「4回表、小説ウィテングスの攻撃は、七番、ショート、scarlet」

scarlet

「うつーし」

佐天涙子が初球を投げる。

【バシイ】

西本主審

「ストライク！」

scarlet

「高めに来たな…」

個法美偉

(よしよし)

scarlet

(荒れ球なんだよな…)

阪神政虎

「選手に例えるとすれば…、佐天涙子は福原かな？」

イグッチョ

「なぜ？」

阪神政虎

「荒れるから」

【ピシコ】

【バシイ】

西本主審

「ボール！」

ピッキー

「確かに、荒れますよね」

【ピシコ】

【バシイ】

西本主審

「ボールツウ」

阪神政虎

「ボール多いなあ」

個法美偉

(荒れ球を生かすわよ)

【ピシコ】

【バシイ】

西本主審

「ストライクヅウ！」

s c a r l e t

(外、内に高め、低めに散らばるから定まらない…)

【ピシコ】

【バシイ】

西本主審

「ボールスリー！」

s c a r l e t

「フルカウントか…」

個法美偉

(ラストよ)

【ピシコ】

s c a r l e t

(入ってきた)

【スウ～】

s c a r l e t

「なに！？」

【バシイ】

西本主審

「スットライクバッターアウト！」

scarlet

「変化球かよ」

個法美偉

（してやつたり）

アナウンス

「八番、セカンド、ユーリ

個法美偉

（左打者か…）

阪神政虎

（セーフティーでまずは揺さぶれ）

ユーリ

（はい）

【ピシュ】

ユーリ

（セーフ）

個法美偉

(ー?セーフティー?)

【サツ】

ユーリ
(ティ)

【バシイ】

西本主審

「ストライク!」

個法美偉

(振りだけ?)

ユーリ

(振りだけ振りだけ)

佐天涙子

(嫌なバッター…)

【ピシコ】

ユーリ

(セーフティーと見せかけての…)

個法美偉

(見せかけか)

【コソ】

個法美偉

「な…」

ユーリ

「セーフティー」

高坂桐乃

「騙したわね」

セーフティーバントで出塁

ユーリ

「野球は騙し合いのスポーツだからね」

続く九番・一・二・三・四が送り一死一塁

アナウンス

「一番、センター、双樹樺」

双樹樺

「今度はちゃんと送り返す」

個法美偉

(内角にストレート、ボールにして)

佐天涙子

(はい)

【ペシコ】

【カキン】

阪神政虎

「あつ」

打球はセカンドのフライだつたが

初春飾利

「あれれ？」

打球は外野の方へ

既にゴーリさんは三塁を蹴つている。

センターの御坂美琴も前進前進

御坂美琴

「どつちよおおー！」

個法美偉

「無理しないで！」

打球は

初春飾利

「えういー！」

【ダス】

初春飛びつくも届かず

丹波墨審

「フニア！」

ユーリ

「やつたあ！」

阪神政虎

「ポテンヒットか」

ウイニングス6点目

ピッキー

「ワンサイドの雰囲^氣が…」

続く鷹峯瑠さんはセンター フライでチョンジ

御坂美琴

「5点差は洒落にならないわよー！」

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウイニングス】 4回表（後書き）

【4回表終了】

小説	302	1	6
学園	010	—	1

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィングス】4回裏

ピッキー

「イッキュさん、今5点差ですけど、これから向かえるクリーンアップは開幕前に下馬評で『N.O.・1のクリーンアップ』と評価されとたんだ、最もジャイアンズにクロえもんが入団したせいで評価は下がつたけど」

イッキ

「細心の注意を払いますよ」

ピッキー

「一つのコントロールミスが大量失点に繋がります」

イッキ

「わかつて、俺は5回過ぎるまではプルペンの世話にはなりません」

そう言つてイッキュさんはレフトファールゾーンにあるプルペンを見る。

連載初期こそ、投手不足だったが最近じや霧嶺劉斗さんにイグッチヨさん、阪神からレンタルのザラテ、新入団の熊谷がプルペンで待機している。

ピッキー

「頼みました」

アナウンス

「4回裏、学園都市ゴールデンガールズの攻撃は、3番ピッチャー、
佐天涙子」

ピッキー

(初球は避けて)

i k k i

(はい)

【ピシュ】

【バシイ】

西本主審

「ボール」

ピッキー

(よし次も外せ)

【ピシュ】

【バシイ】

西本主審

「ボールツウ！」

阪神政虎

「強打者だからついていくんな」

ピッキー

(でもこれがセオリーですよ)

i k k i

(アイツ攻撃主義だからなあ～)

【ピシゴ】

【バシイ】

西本主審

「ストライク！」

佐天涙子

（入れてきた）

ピッキー

（よしよし、じゅあ）

i k k i

（は？ピッキーさん正氣ですか？）

ピッキー

（いたつて正氣です）

【ピシゴ】

佐天涙子

「え？」

【バシイ】

西本主審

「ストライクツウ！」

佐天涙子

「ど…ど真ん中？」

ピッキー

「せつかくサービスしてあげたのに」チッ

佐天涙子

「え？ ええ～」

i k k i

(あれサービスなの?)

阪神政虎

(単に意表の意表をついただけじゃね?)

O S B

阪神政虎

(しかしこれでどう攻めるか…)

ピッキー

(.....)

i k k i

(どうします?)

ピッキー

(もう一度ど真ん中だが、シンカーで)

i k k i

(はい)

【ピシュ】

佐天涙子

(えへ、ど真ん中?)

佐天涙子は振りに行くが

【ガギイ】

佐天涙子

「あ…あれ?」

ピッキー

「任せろ!」

打球は打者の手前でバウンドし、ピッキーさんがそれを捕球し送球。

【パシー】

佐々木墨審

「アウト!」

佐天涙子

「やられた…、あれシンカーか…」

阪神政虎

（4球とも全部直球だつたから変化球を打たされたのか…）

アナウンス

「四番、ファースト、麦野沈利」

麦野沈利

「つたくまだウチらは2安打かよ」

ピッキー

（こいつからは一発浴びてるからなあ…）

i k k i

（本当にだよ）

ピッキー

（とりあえず逃げるぞ）

【ピシュ】

【パシイ】

西本主審

「ボール」

ピッキー

(OKOK)

i k k i

(次は)

ピッキー

(入れてこい)

【ピシコ】

【パシイ】

西本主審

「ストライク」

麦野沈利

(つたく入れなかつたり入れたりビッちだ?)

絹旗最愛

(変に紛らわしいワードを超しますね)

ピッキー

(次はわっさと回りでシンカー)

i k k i

(はい)

【ピシコ】

【カキン】

打球は三塁スタンドへ

アナウンス
「ファールボールはお気をつけください」

麦野沈利

(チツ、変化球か…)

ピッキー

(当ててしかもスタンドに入れた…やつぱりこの人は怪力だ…)

阪神政虎

(外野、バック)

阪神政虎が外野後退を指示。

鷹峯瑛

(はい)

双樹楨

(了解)

千歳涼介

(分かりました)

どっちかと言えば、さつきまで「ちょっと後退」だったのが「完全に後退」になつただけ

ピッキー

(2ストライク1ボールか…)

i k k i

(追い込みましたね)

阪神政虎

(「」までは投手が勝つてゐる)

ピッキー

(よしーじゃあシンカーで仕留めひー)

i k k i

(はいー)

【ペシコ】

【カキン】

ユーリ

「はいよー」

セカンドゴロ

麦野沈利

「くつ…」

アナウンス

「五番、ライト、縄旗最愛」

【カキン】

絹旗最愛

「あ……」

【パシイ】

西本主審

「アウト。」

初球のシンカーを振り、キャッチャーフライでチェンジ

【学園都市ゴールデンガールズ対小説ウィテングス】5回表

アナウンス

「5回表、小説ウィテングスの攻撃は、三番、サーダー、紀葉」

紀葉

「なんか…なあ～」

阪神政虎

「メジヤーは大量得点を獲つたらもう打は打ちちゃいけないんだよなあ」

個法美偉

（5点差…）

紀葉

（打どうかなあ？）

【パシイ】

西本主審

「ストライク！」

紀葉

（うん入った）

阪神政虎

（紀葉さん打つ気無いな～）

【パシイ】

西本主審

「ストライクバッター、アウト！」

紀葉

「5点差だしなあ」

アナウンス

「四番、キャッチャー、ピッキー」

ピッキー

「（）はメジャー流に」

【カキン】

佐天淚子

「セカアンー！」

ピッキー

「打ち取られまーす」

【パシイ】

佐々木墨審

「アウトー！」

阪神政虎

「まあやつなるわな

続くじゅうともシード、ロード倒れチヨンジ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6439z/>

熱血！アニメゲームリーグ戦

2012年1月14日22時54分発行